

教育要覧 2026

大館市の教育



徒渡り（早口小学校 令和7年7月）



共に学び、生きる共生社会コンファレンス in おおだて（令和7年12月）
「なんでも発表会」（ほくしか鹿鳴ホール）

大館市教育委員会

こども・おとなが共に学び合う ひとづくり

【教育大綱】

基本理念

ふるさとに学び
未来を創造できる
「人財」の育成

基本目標

信頼と安全を築く教育環境の整備充実

ふるさとを担う「未来大館市民」を
育成する学校教育の深化

ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習
の推進と支援

郷土の歴史と文化を学び、大館びとの
誇りを醸成

基本目標：信頼と安全を築く教育環境の整備充実

重 点 施 策	担当部署
1 安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る 2 豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実を図る 3 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める	教育総務課

基本目標：ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

重 点 施 策	担当部署
1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財を育成する 2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する 3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る 4 集団の中で多様な考えに触れることで、児童生徒一人一人の共感的・協働的に学ぶ能力を伸ばす 5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する	学校教育課 教育研究所

基本目標：ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援

重 点 施 策	担当部署
1 ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める 2 市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する 3 「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る 4 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する 5 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する 6 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める 7 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 市民交流センター

基本目標：郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成

重 点 施 策	担当部署
1 大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する 2 郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する 3 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える 4 歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める	歴史文化課

目 次

大館市の教育大綱

教育委員会 1

第 1 編 教育行財政

大館市の概況 2

教育予算 3

教育委員会の機構 5

事務局職員 6

各施設職員 7

第 2 編 生涯学習

令和 8 年度大館市生涯学習推進計画 8

第 3 編 学校教育

学校教育の基本方針 1 2

学校の概要 1 5

学校施設等の概要 1 6

教育研究所 2 2

教育研究会 2 4

大館市立小学校・中学校所在地 2 6

第 4 編 保健・給食

学校保健 2 8

学校給食 2 9

第 5 編 社会教育

令和 8 年度大館市社会教育推進計画 3 0

社会教育施設一覧・利用状況 3 2

各施設の概要 3 9

社会教育関係団体とその活動 5 9

社会教育施設所在地 6 0

第 6 編 文化財・芸術文化

文化財保護の概要 6 2

芸術文化振興の概要 6 2

各施設の概要 6 3

指定文化財一覧 7 1

登録文化財 7 2

名園・名木一覧 7 2

芸術文化、文化財保護関係団体 7 3

第 7 編 資料

各種委員名簿 7 4

大館市生涯学習推進要綱 8 0

大館市生涯学習推進本部体制 8 3

教 育 委 員 会

1 . 事務局

〒018-3595 秋田県大館市早口字上野 4 3 番地 1 (田代総合支所内)

- ・ 教育総務課 (TEL) 0186-43-7111 (FAX) 0186-54-6100
- ・ 学校教育課 (TEL) 0186-43-7112 (FAX) 0186-54-6100
- ・ 生涯学習課 (TEL) 0186-43-7113 (FAX) 0186-54-6100

〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字獅子ヶ森 1 番地 (大館郷土博物館内)

- ・ 歴史文化課 (TEL) 0186-43-7133 (FAX) 0186-48-2512

2 . 教育長・教育委員

職 名	氏 名	委員等歴	摘 要
教 育 長	長 岐 公 二	R 7. 4. 1 R10. 3.31	
委 員	山 田 和 人	H26. 3.24 R12. 3.23	教育長職務代理者
委 員	工 藤 啓 子	R 2. 4. 1 R10. 3.31	
委 員	小笠原 正 卓	H28.12.25 R 8.12.24	
委 員	真 田 かずみ	R 6.12.25 R10.12.24	



教育長
長岐 公二



教育長職務代理者
山田 和人



委 員
工藤 啓子



委 員
小笠原 正卓



委 員
真田 かずみ

第1編 教育行財政

大館市の概況



花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー！（花岡小学校 令和7年10月）

大館市は、秋田・青森・岩手3県の北東北の中心部に位置し、古くから天然秋田杉をはじめとする豊かな自然に恵まれ、農林業や鉱業とともに伝統工芸や文化的遺産など豊富な資源を有し、栄えてきました。新たなまちづくりとして、「匠と歴史を伝承し、多様性を力に変えていく未来創造都市」をコンセプトに、大館市の「これから」をともに切り拓いていくため、「おおだて未来づくりプラン」を策定し、戦略的なまちづくりを目指しています。

教育・人財・文化の分野においては、「こども・おとながともに学び合うひとづくり」を戦略に、ふるさとキャリア教育で培った「未来大館市民」の継承や人生100年時代に対応した学びの環境と生きがいの場の提供、さらに、将来のふるさと大館を担う子どもたちに世界への架け橋をつくり、市民の夢と成長を支えるまちを目指しています。

人口及び面積

（令和8年5月末日現在）

人口 (人)	世帯 (世帯)	面積 (k m ²)	人口密度 (人/k m ²)
63,228	30,743	913.22	69.24

市制施行年月日

昭和26年4月1日

市三役

市長 石田 健 佑
副市長 北 林 武 彦
教育長 長 岐 公 二

市議会議長及び副議長

議長 藤 原 明
副議長 明 石 宏 康

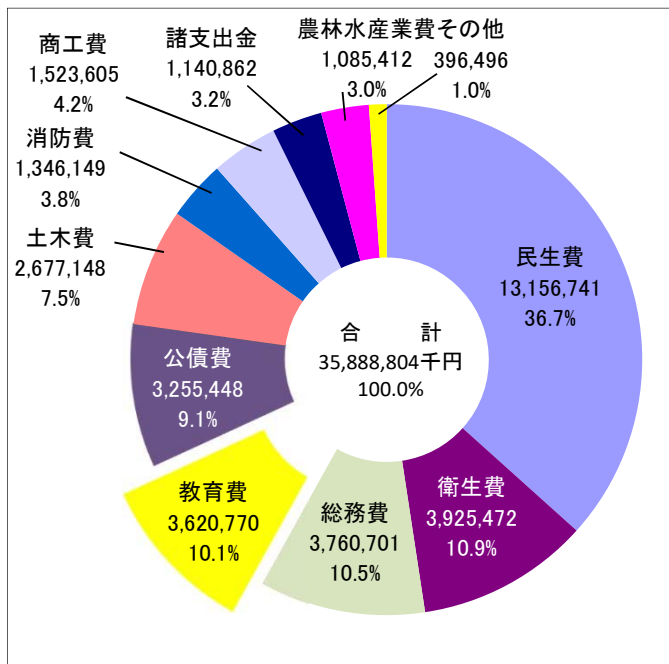
教 育 予 算

令和 8 年度 予算の内訳（当初予算ベース）

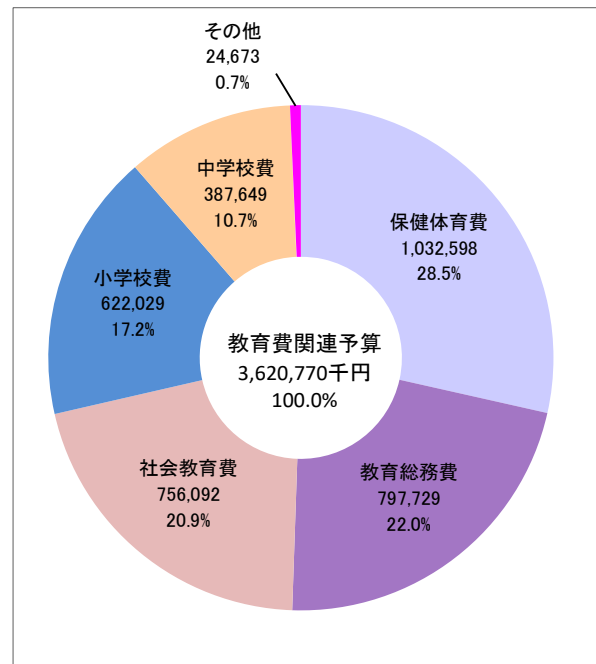
（単位：千円）

項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
1．教育総務費	797,729	(12) あやめ苑管理費	227
(1) 教育委員会費	2,833	(13) 郷土博物館費	105,502
(2) 事務局費	432,775	(14) 交流センター費	15,245
(3) 教育助成費	7,874	5．保健体育費	1,032,598
(4) 義務教育研修費	1,117	(1) 保健体育総務費	419,004
(5) 学務費	79,091	(2) 体育施設維持及び改良費	5,137
(6) 特別支援学級費	913	(3) 給食管理費	549,881
(7) 教育施設整備基金費	1,736	(4) 給食施設維持及び改良費	58,576
(8) 教育研究所費	40,594		
(9) 交流文化事業費	8,102		
(10) 文化会館管理費	92,501	教育費合計	3,596,097
(11) 文化会館維持及び改良費	5,200		
(12) 樹海ドームパーク管理費	124,493		
(13) 樹海ドームパーク維持及び改良費	500	6．北地区コミュニティセンター費	24,673
2．小学校費	622,029		
(1) 学校管理費	372,463		
(2) 教育振興費	150,194		
(3) 施設維持及び改良費	99,372		
3．中学校費	387,649	教育関係予算合計	3,620,770
(1) 学校管理費	249,799		
(2) 教育振興費	88,608		
(3) 施設維持及び改良費	49,242		
4．社会教育費	756,092		
(1) 社会教育総務費	63,558		
(2) 公民館費	178,632		
(3) 公民館事業費	10,927		
(4) 施設維持及び改良費	9,986		
(5) 図書館費	89,533		
(6) 文化費	24,885		
(7) 青少年健全育成費	581		
(8) 生涯学習費	1,198		
(9) 児童育成費	233,061		
(10) 鳥潟会館費	17,388		
(11) 少年相談センター費	5,369		

令和8年度一般会計歳出予算



教育費予算内訳



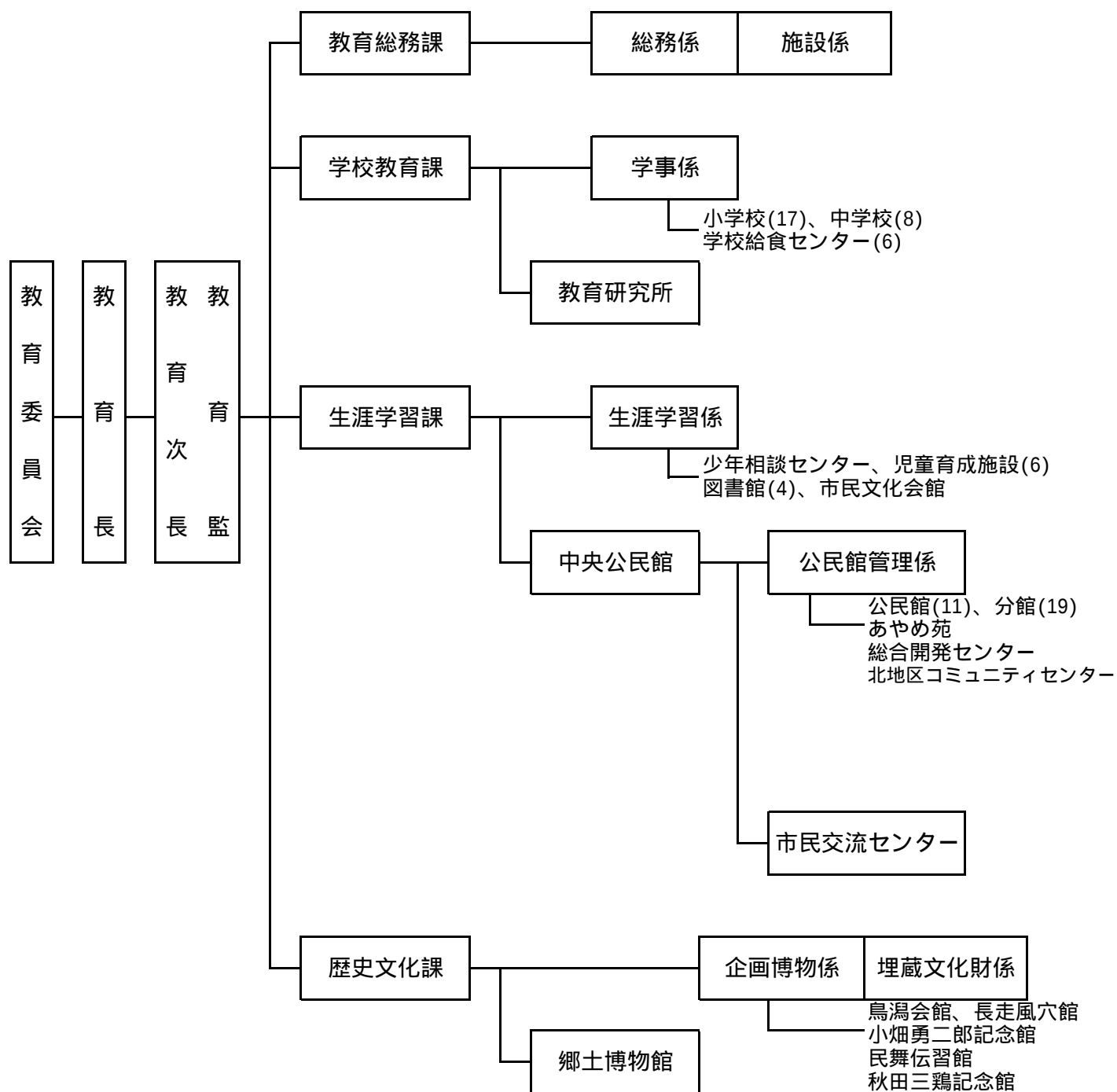
(労働費のうち、北地区コミュニティセンター費は教育費に算入し、その他として分類)

令和8年度重点施策(教育費)

(単位 : 千円)

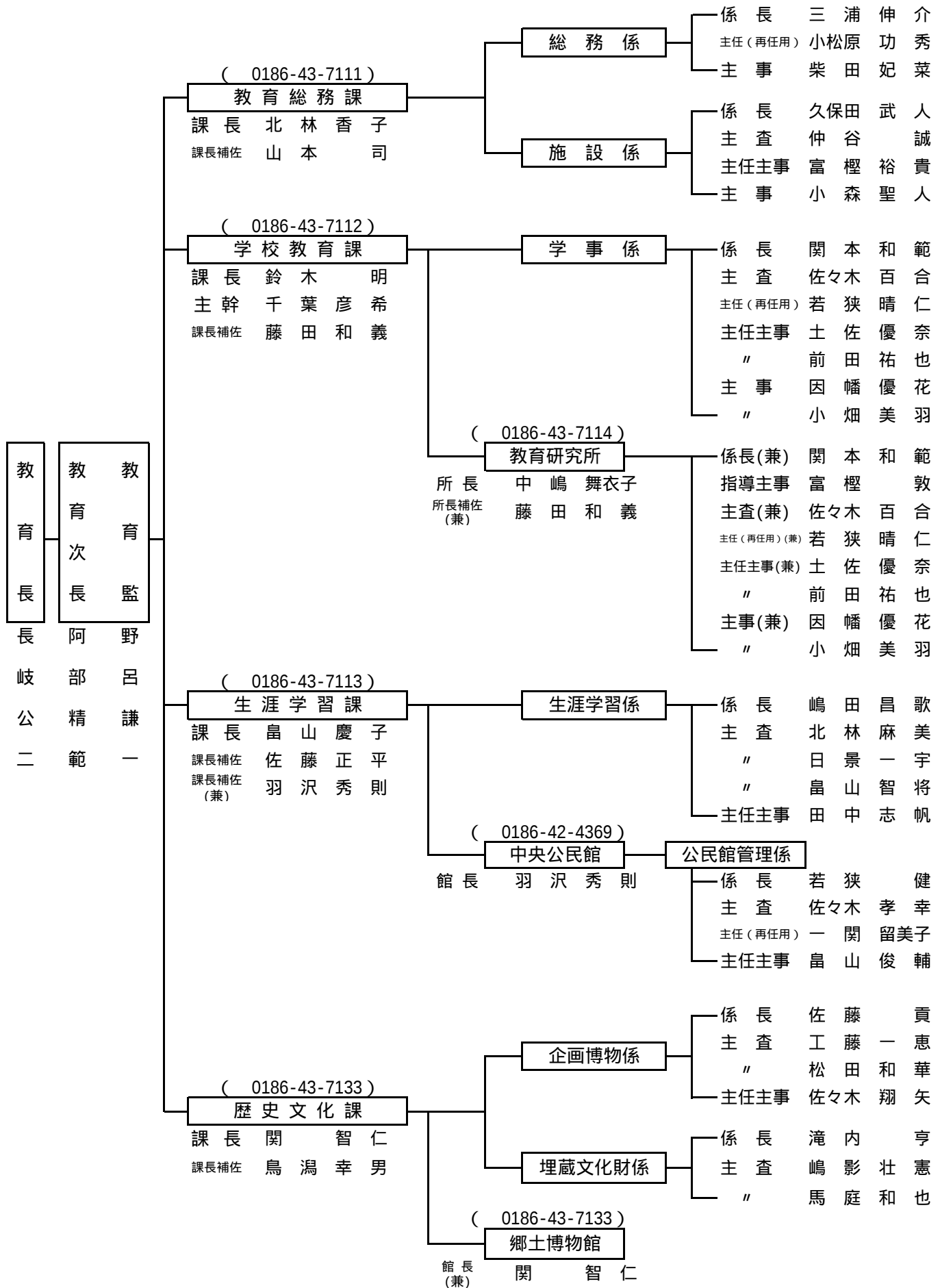
事業名	事業費	内容
おおだて型教育発信事業	5,146	地域おこし協力隊活用事業
ふるさとキャリア教育夢事業	8,384	
G I G Aスクール推進事業	33,309	
小・中学校電子黒板導入事業	54,912	
学校図書整備事業	3,406	
小学校英語教育推進事業	12,778	
適応指導おおとり教室事業	5,530	不登校児童生徒対策
スクールカウンセラー配置事業	4,956	
語学指導助手(ALT)	19,619	
部活動指導員配置事業	4,059	
特別支援教育支援員派遣事業	102,626	
曲げわっぱ学校給食活用事業	1,946	全小学校4～6年生
小学校給食費負担軽減補助金	124,353	
学校給食費物価高騰対策補助金	65,079	
小・中学校特別教室エアコン整備事業	44,199	
小・中学校スクールバス事業	104,115	南小、矢立小、西館小、東館小、山瀬小、長木小、東中、比内中、田代中、北陽中
大館学び大学事業	3,651	
放課後児童健全育成事業	218,466	
市民文化会館管理運営	92,501	指定管理
図書館管理運営	89,533	指定管理
奨学資金貸付金	11,836	特別会計予算

教育委員会の機構（令和8年4月1日現在）



注（ ）内の数値は施設数

事務局職員（令和8年6月1日現在）



各 施 設 職 員

釈迦内公民館（ 0186-43-7117 ）

館 長（非常勤） 日 景 省 蔵
主 査（併任） 畠 沢 昌 人

田代公民館（ 0186-43-7126 ）

館 長（非常勤） 北 林 孝 男
係 長 田 村 美 諭
会計年度任用職員 佐々木 美 穂

長木公民館（ 0186-43-7118 ）

館 長（非常勤） 石 田 晴 子
主 査（併任） 大 森 篤 志

市民交流センター（ 0186-49-7028 ）

館 長（兼務） 羽 沢 秀 則
会計年度任用職員 河 田 美智子
" 小 瀨 朗 子
" 島 内 美佳子
" 長 崎 恵 美

上川沿公民館（ 0186-42-0836 ）

館 長（非常勤） 戸 田 孝 彦
主 任（再任用・併任） 三 澤 明日子
主 任（再任用・併任） 吉 田 厚 子

郷土博物館（ 0186-43-7133 ）

館 長（兼務） 関 智 仁
会計年度任用職員 荒 谷 由季子
" 熊 谷 星 野
" 淀 瀨 久美子

下川沿公民館（ 0186-49-0271 ）

館 長（非常勤） 佐 藤 眞 人
主 査（併任） 小 林 聖 一

真中公民館（ 0186-49-5928 ）

館 長（非常勤） 五十嵐 芳 子
係 長（併任） 加 賀 正 史

秋田三鶏記念館（ 0186-43-7133 ）

会計年度任用職員 山 内 常 代
" 戸 館 隆
" 武 田 賢 作
" 白 川 千恵子

二井田公民館（ 0186-49-4121 ）

館 長（非常勤） 一 関 雅 幸
係 長（併任） 工 藤 雄 一

長走風穴館（ 0186-51-2005 ）

会計年度任用職員 虻 川 嘉 久
" 秦 武 志
" 松 山 伸 人

十二所公民館（ 0186-43-7123 ）

館 長（非常勤） 吉 成 眞
主 査（併任） 成 田 浩 司

鳥潟会館（ 0186-46-1009 ）

会計年度任用職員 一町田 久美子
" 笹 島 真理子
" 川 田 光 彦
" 若 狭 洋 平

花岡公民館（ 0186-43-7124 ）

館 長（非常勤） 伊 勢 善 和
係 長（併任） 岩 谷 憲 昭

矢立公民館（ 0186-43-7125 ）

館 長（非常勤） 若 松 俊 一
係 長（併任） 山 内 浩 樹

少年相談センター（ 0186-42-0769 ）

会計年度任用職員（相談専門員兼所長） 高 橋 秀 一
会計年度任用職員（少年指導・相談員） 櫻 庭 博 子

比内公民館（ 0186-43-7141 ）

館 長（非常勤） 若 宮 司
主 査 加 賀 至
会計年度任用職員 小 玉 紀菜美

第2編 生涯学習

令和8年度大館市生涯学習推進計画

教育基本法第3条（生涯学習の理念）

平成18年12月

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

1. 生涯学習推進方針

今日の社会を取り巻く情勢は、人口減少・少子高齢化、社会構造の複雑化、高度情報化社会の進展などにより大きく変化しています。

このような状況の中、年齢、性別、人種、障がいを超えて多様性を受け入れ、誰もが社会にとって大切な存在として、一人ひとりの個性と能力が発揮できる地域づくりを進め、人生100年時代を見据えた、少数精鋭のまちづくりを目指した生涯学習の推進が求められています。

政府が令和5年度に策定した第4期教育振興基本計画では、コンセプトの一つに「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げており、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることによって、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされるとしています。

また、本市の新たな最上位計画である「おおだて未来づくりプラン」では、第2次新大館市総合計画の基本理念「大館の未来を紡ぐ物語づくり」を継承し、「ひと」、「暮らし」、「まち」が相互に関わり合いながら、本市の未来につながるものがたりづくり（歴史）をつくることを目指すべき姿のもととなる価値観として位置付け、将来のふるさと大館を担う「未来大館市民」の育成に向け、「子どもたちに世界への架け橋をつくる」ことを目指すとしています。

これらを踏まえ、新たに策定した第8次大館市社会教育中期計画では、第7次大館市社会教育中期計画の施策を継続しつつ、さらなる充実を図りながら、「地域に根ざしたウェルビーイングの向上」を目指して、「ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援」を基本目標とし、生涯学習を推進するものです。

2. 生涯学習推進のための中期的な環境整備施策

生涯学習を推進するため、社会教育関係部局及び関係機関が実施する、中期的な環境整備計画を設定する。

[1] 生涯学習推進体制の整備

- (1) 生涯学習推進機関のネットワーク化
- (2) 生涯学習奨励員活動の促進
- (3) 出前講座実施に向けた体制の整備
- (4) 「まなびピア in おおだて」生涯学習フェスティバルの開催
- (5) 「知の循環型社会」実現のための環境整備
- (6) 大館学び大学事業の定着
- (7) 生涯学習情報の提供

- [2] 社会教育施設の整備と拡充
 - (1) 学習施設機関の窓口への資料整備
 - (2) 既存社会教育関連施設の整備状況点検
 - (3) 木育事業の充実

3 . 令和 8 年度生涯学習推進本部の施策と事業

- [1] 生涯学習推進機関のネットワーク化
 - (1) ネットワーク会議を通じた推進体制の強化
 - 生涯学習推進協議会を通じた関係機関・団体との推進連携強化
 - 生涯学習推進本部幹事会における推進体制の整備と強化
 - 学社連携事業の推進
- [2] 生涯学習奨励員活動の促進
 - (1) 市単独研修会の実施、県及び北鹿地区の研修会等への派遣
 - (2) 地域内の奨励活動の充実
 - (3) 生涯学習奨励員の地域外活動促進
- [3] 生涯学習事業の推進
 - (1) 生涯学習関連事業の展開
 - (2) 出前講座メニューの拡大
 - (3) 市民に対する出前講座の提供及び対応強化
 - (4) 大館学び大学事業の定着
 - (5) 木育事業の実施

4 . 令和 8 年度の主な事業内容

- [1] 「まなびピア in おおだて 2 0 2 6 」生涯学習フェスティバルの開催
 - 期 間 生涯学習強調月間 令和 8 年 9 月～ 1 0 月
 - メイン開催日 令和 8 年 9 月 2 6 日 (土) ～ 2 7 日 (日)
 - 事業予定
 - 中央公民館サークルまつり (サークル作品展)
 - 「みんなの木育ひろば」
 - 大館地区発明くふう展
 - (一財) 大館市文教振興事業団協賛事業 (ほくしか鹿鳴ホール、栗盛記念図書館)
 - 市民交流センターまつり ほか
- [2] 大館市出前講座の開催
 - 講座メニュー
 - 「もしものための救命講座」「大館市の防災 (防災基礎講座)」「ポッチャ体験」「ふるさと歴史講座」
 - 「木育を体験しよう」「延ばそう健康寿命」など 5 7 講座

[3]大学公開講座、大学校公開市民講座2026の開催

大学公開講座 令和8年7月9日(木) 10月18日(日) 秋田看護福祉大学
大学校公開市民講座2026 令和8年9月26日(土)3講座 東北能開大秋田校

[4]「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催

平成29年度に作成した「大館ふるさとカルタ」を普及させるとともに、放課後児童クラブの交流事業として、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。

また、カルタ大会の運営に高校生ボランティアを募り、審判・読み手の育成も図る。



大学公開講座（秋田看護福祉大学）



ポッチャ出前講座



大学校公開市民講座 2026（東北能開大秋田校）



みんなの木育ひろば
（生涯学習フェスティバル）



20歳を祝う会

第3編 学 校 教 育

1. 学校教育の基本方針

(1) 小・中学校教育 推進目標と指導の重点

『ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化』

- 1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人材を育成する
 - (1) 大館の未来を切り拓くための総合的人間力(「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」)の育成
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付け、自律した行動ができる児童生徒の育成
 - (3) 基本的な学習習慣の確立と学ぶことの意義の浸透
 - (4) 児童生徒一人一人が自己肯定感・有用感をもって生活できる集団づくり
 - (5) 運動の習慣化、日常化の確立と充実した食育による健康の保持増進
 - (6) いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実
 - (7) 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進
 - (8) ふるさとキャリア教育を積み重ねて生み出された「強み」の進化・深化
- 2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する
 - (1) 教育ツーリズムによる「本質を追い求める教員が集う街」の実現
 - (2) ふるさとの価値を多面的かつ広域的に捉える機会の充実
- 3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る
 - (1) 就学前教育及び中等・高等教育とのつながりを重視した「教育の縦の基軸」の強化
 - (2) 地域住民や民間企業等との連携等「教育の横の基軸」を生かしたスクール・コミュニティの形成
- 4 集団の中で多様な考えに触れることで、児童生徒一人一人の共感的・協働的に学ぶ能力を伸ばす
 - (1) 「共感的・協働的な学び」と「一人一人が生きる学び」の一体的な充実
 - (2) 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善
 - (3) 幼保・小・中・高・大連携や学校間交流による実践研究
 - (4) 地域の学習材等、教育資源を活用した授業や教育活動の開発
 - (5) 教育専門監、授業マイスター等を活用した実践的研修の活性化
 - (6) 「おおだて型授業(響学)」の充実を図るツールとしてのICTの効果的な活用
- 5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する
 - (1) 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備

(2) 就学前教育 推進目標と指導の重点

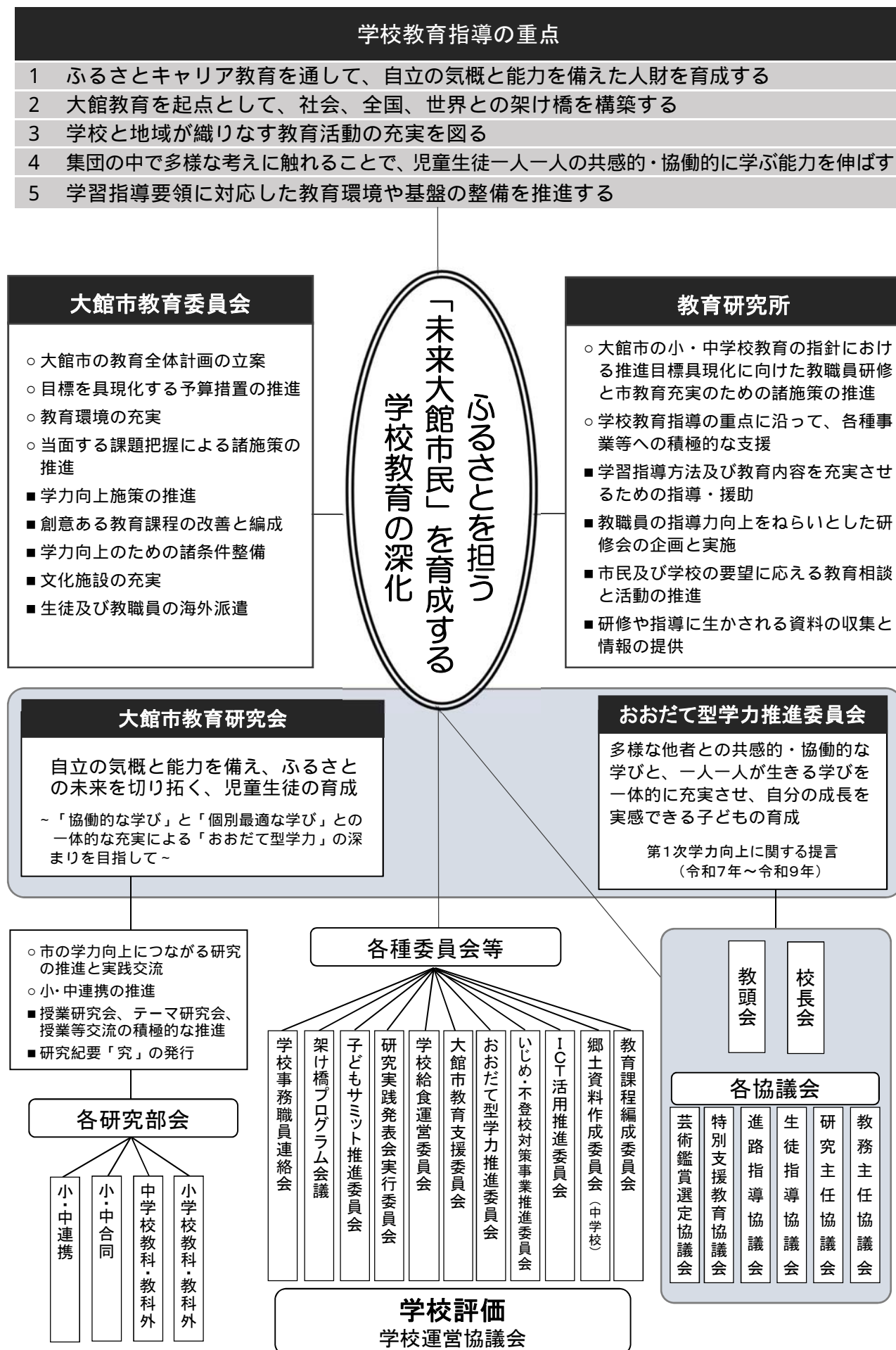
『豊かな生活体験を通して、人間的基礎力を育む就学前教育の推進』

架け橋期に期待する子どもの姿

周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間とともに育ち合う子ども

- 1 主体的に環境にかかわり、遊びや生活を通して総合的に発達していく過程を大切にした指導に努める
 - (1) 基本的な生活習慣や態度の形成
 - (2) 一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導の充実
 - (3) 人と関わる力や思考力、想像力や表現力を育む環境の構成
 - (4) 地域との関わりの中で、充実感や達成感が味わえる多様な体験の充実
 - (5) 友達と協同する経験や規範意識を身に付けていくクラスづくり
 - (6) 運動習慣の形成や食育など健康な生活リズムづくりへの取組
- 2 地域社会に開かれた信頼される園づくりを推進する
 - (1) 学校評価・外部評価の実施、結果の公表と活用
 - (2) 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が示すところに従った創意工夫ある教育課程の編成・全体的な計画の作成
 - (3) 全職員で取り組む特別支援教育の園内体制の確立
 - (4) 保護者との信頼関係を基盤にした子育て支援の推進
 - (5) 地域や家庭とともに子どもを育てる環境づくり
- 3 実践的指導力を高める教職員研修を推進する
 - (1) 園内研究体制の確立と自園の研究主題に向けた保育の実践
 - (2) 小学校教育との円滑な接続の推進、架け橋期のカリキュラムの運用
 - (3) 今日的な課題に対応するための研修の充実

(3) 大館市学校教育推進全体構想



(4) 指導の重点と関連する施策及び事業

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財を育成する

- 第1次学力向上施策（提言）の推進
 < 共通目標 >
 多様な他者との共感的・協働的な学びと、一人一人が生きる学びを一体的に充実させ、自分の成長を実感できる子どもの育成
- 県学習状況調査の分析と改善に向けた対策
- 学校訪問（国語・生活・理科・生徒指導等）
- 教育委員学校訪問
- 小学校外国語活動支援員派遣（小）
- ALT派遣（中）
- 適応指導大館おおとり教室事業
- いじめ・不登校対策事業
 （子育て相談会・講話、ふれあいお楽しみ会）
- 臨床心理士の配置
- 県スクールカウンセラー配置事業（全中学校）
- 大館市スクールカウンセラー訪問事業
- 教育支援委員会
- 通級指導教室（桂城小・釈迦内小・扇田小・一中）
- 特別支援教育地域センター（桂城小）
- 幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」
- 教育支援員の配置
 （小学校44名、中学校6名、おおとり教室1名）
- 子どもハローワークの運営
- 子どもサミット活動
 （ペットボトルキャップ、こでん回収、メディアコントロール）
- 未来人財プロジェクト
- ふるさとキャリア教育作品コンクール

2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する

- 教育ツーリズムを通して、参集を希望する志ある全国の教員が、あるべき教育の姿を語り合う場を設定
- 他市町等との交流による授業マイスター等教員の派遣
- 教育アテンダントの配置
- 子どもサミット活動（あいさつ運動、釜石市児童生徒会「かまいし絆会議」との交流）
- 中学生海外研修派遣事業
- 交流事業（南種子町、常陸大宮）
- 他課所による児童生徒派遣事業との連携

3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る

- 幼保小連携関係事業
 （幼保小の架け橋プログラム促進事業）
- 百花繚乱作戦
- ふるさとキャリア教育夢事業
- ふるさとキャリア教育ステップアップ事業
- キャリア教育コーディネーターの配置
- スクールガード・リーダー巡回指導
- 地域学校協働本部事業
- 地域防災活動
- 指導主事はちくんの派遣
- 登下校防犯プラン推進会議
- 子供110番の家
- 大館未来型コミュニティ・スクールの構築と推進
- 学校・家庭・地域との連携・協働の促進

4 集団の中で多様な考えに触れることで、児童生徒一人一人の共感的・協働的に学ぶ能力を伸ばす

- おおだて型学力推進委員会
- 大館市教育研究会（小中合同部会）
- 教職員研究実践発表会
- 夏季研修会・ICT活用研修講座
- 初任者研修・講師研修会
- 市内諸施設・企業等見学会及び研修会（兼大館市初任者研修）
- 小学校外国語活動支援員研修会
- 授業マイスター認定制度・チャレンジ授業賞・ふるさと授業賞
- 授業力向上支援研修
- ICT活用推進委員会
- ICT支援員の配置

2. 学校の概要 (R8.5.1現在)

(1) 児童生徒数・学級数

小学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	21	18	18	17	20	20	32	146
児童数	335	314	355	387	383	393		2,167

1学年の学級数には1・2学年の複式学級2学級を含む。

2学年の学級数には2・3学年の複式学級1学級を含む。

3学年の学級数には3・4学年の複式学級4学級を含む。

4学年の学級数には4・5学年の複式学級1学級を含む。

5学年の学級数には5・6学年の複式学級1学級を含む。

中学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	15	15	17	14	61
生徒数	368	394	419		1,181

(2) 教職員数

校種別	教 職 員								市職員（会計年度任用職員含む）						合 計
	校 長	教 頭	教 諭	講 師	養 護 教 諭	栄 養 職 員	事 務 職 員	小 計	校 務 主 事	栄 養 職 員	調 理 技 師	教 育 支 援 員	そ の 他 職 員	小 計	
小学校	17	17	169	31	17	4	17	272	37	2	9	45	11	104	376
中学校	8	8	108	23	9	3	9	168	18	0	0	6	8	32	200
合計	25	25	277	54	26	7	26	440	55	2	9	51	19	136	576

(3) 病院学級

校種別	児童・生徒数	教員数
小学校	0	0
中学校	0	0
合計	0	0

(4) 通級教室

校種別	学級数	児童・ 生徒数	教員数
小学校	5	76	4
中学校	1	11	1
合計	6	87	5

３．学校施設等の概要

(１) 小学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
桂 城 小	加藤 長幸	桂城（かつらじょう）の名を受け継ぐ本校は、桂城未来科のテーマを「つなげよう わが町 桂城 城下町」～自覚と誇りをもち自他の幸せに向かって行動する桂城っ子～と定めました。城下町の歴史と伝統を学び、地域貢献活動に取り組み、未来に向けて自走する力と姿勢づくりを育みます。また桂城っ子は、全員の手が挙がる「チャレンジタイム」と、考えを広げ深める「チェンジタイム」で共感的・協働的な学び合いを目指します。創立１５２年目の今年度。「MKC（目的・行動・チャレンジ）で自分もみんなも幸せに」を合言葉に、自信と誇りをもって行動する児童の育成を目指します。
城 南 小	藤原 寿準	今年の合言葉は「『思いやり』と『Nice Try!』でかがやく城南小」。元気で明るい挨拶と、児童が主体的に課題解決に向かう「シンカタイム」を組み込んだ学習に取り組んでいます。また、毎年大好評、６年生手作りの「ふるさとCM」をはじめとするプロジェクト。自分たちの学校や地域に焦点をあてて、全学年で取り組み、ふるさと、未来のつくり手となる力を育んでいます。城南っ子と職員ともに、Nice Tryで創立１５２年目のさらなる歩みをつないでいきます！
城 西 小	川崎 郁子	県内初のコミュニティ・スクールに指定されて20年目。「チーム城西 とともに光りがやく」の学校教育目標の下、「Be Happy! 大作戦」～みんなで幸せの種をまこう～に取り組み、一人一人がBestを尽くし、everyone（みんな）の幸せを目指しています。シンボルツリーの桜や幸せの菜の花が美しく花を咲かせて今年度が始まりましたが、一人一人の心にも幸せの花を咲かせるための種をまくことができるように、チーム城西で取り組んでいます。
有 浦 小	中井 淳	令和８年度は、学校教育目標実現のキーワードとして「『ありハビ』とプラスαの発想と行動で作る、一つ上の学びの創造」とし、子どもたちが作った１７の行動目標の具現と、新しい有浦小学校の文化ともなる「有浦よさこいソーラン」づくりに取り組みます。また、令和９年度の育樹祭に向けてPJを新設し、学校緑化の新しい取組にもチャレンジし、「有浦の森」が地域の憩いの場になることを目指します。
釈 迦 内 小	橘 範広	子どもたちが自ら考案したキャラクター「向陽戦隊さくらンジャー」となり、桜三心「美しい心・挑戦の心・前向きな心」、向陽三行「創る、かかわる、やり遂げる」を胸にがんばっています。また、看板事業であるR8の「ひまわりプロジェクト」は、「笑顔咲く、釈迦内わくわくプロジェクト」をテーマに、児童の主体性を生かした活動として新たにスタートしました。ひまわりを通じて地域に元気を届け、笑顔が満開になるような活動を進めながら、地域・学校のウェルビーイングを目指します。
長 木 小	渡辺 俊春	「子ども、保護者、教師、地域、みんながパートナー」という教育理念を掲げています。自分たちのアイデアを具現化する児童会活動、エゾタンボボの保護活動、ハチ公ドーム前の旧岱野駅舎周辺を3000本のあじさいで彩る「岱野駅前プロジェクト」への協力、保護者の企画で参加家族の交流を深めるエゾポップくらぶ（夏・冬）の開催など、長木小が「Well-beingな学校」であり続けるための活動に取り組んでいます。伝統の鳳凰太鼓・鹿島太鼓の演奏で地域に元気を届けることで、演奏する児童の矜持と地元LOVEも高まっています。
川 口 小	荒川 務	半径200m程の円内に小・中学校、公民館、駐在所、駅やバス停も収まる抜群の環境を生かし、地域貢献活動「プロジェクトK」を展開しています。「夢授業」やネギの栽培・販売、ネギ1グランプリを通して地域方々と深く関わり、出会いや感動を共有。「地域元気サミット」で、自分たちにできることを地域社会へ提言・アウトプットする姿は、まさに未来大館市民そのもの。また郷土芸能体験として、地域に伝わる「奴踊り」の継承に取り組むなど、豊かな郷土愛を育んでいます。川口文教地区の充実した環境のもと、学校・家庭・地域の心をつなぎ、ふるさとの未来を拓く子どもの育成を目指します。
上 川 沿 小	大越 章弘	秋田杉のぬくもりに包まれた校舎を舞台に、本校のシンボルツリーであるニュートンの木をモチーフにしたイメージキャラクター「ハートさん」「カッシーさん」「ニュートンさん」を体現し、ワンランク上を目指して学習やスポーツに励んでいます。地域に笑顔と元気を届ける百花繚乱作戦「上川沿とびっきりプロジェクト」では、果樹収穫や米販売など上川沿地区の豊かな環境を生かした体験活動を展開し、また、今年度は雪害を受けたりんごの木の枝の活用にも取り組むことで、子どもたちによる活気ある活動を繰り広げ、地域に幸せを届けます。家庭、地域との協働により、「笑顔とあたたかさのある学校」「地域とともにある学校」づくりを推し進めています。
成 章 小	虻川 麻里子	成章書院の歴史と伝統を受け継ぐ成章っ子は、「成章ワンチーム」を合言葉に、日々の学習や活動に主体的に取り組んでいます。枝豆の栽培から商品開発・販売までを一貫して行う「14th成章かがやきプロジェクト」は、保小の連携を深める特色ある取組です。小中合同花ボランティアや町内奉仕活動は地域から高い評価を受けており、子どもたちの元気と笑顔を地域に届けています。また、地域の病院でのクリスマスコンサートや高齢者施設への「元気応援ボード」の贈呈など、温かな交流活動も継続しています。成章っ子は、地域とのつながりを大切にしながら、笑顔と元気を発信し続けています。

(R8.5.1現在)

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
212	12	24	38,589.54	6,844.70	M 7 .4.24	大館市水門町1-12 0186-42-2262
252	13	23	14,675.01	7,122.64	M 7 .4.24	大館市字桜町9 0186-42-3025
246	12	20	21,509.00	6,379.07	(統合) S 33. 9.30	大館市城西町8-1 0186-42-3238
429	18	31	28,870.00	6,927.47	S 17. 6.15	大館市有浦四丁目6-55 0186-42-2834
142	8	20	29,397.11	7,345.10	M 7. 6.26	大館市釈迦内字相染台24 0186-48-2934
154	9	17	23,711.40	4,692.04	M 10. 1.15	大館市上代野字八幡岱45 0186-48-5158
84	9	15	18,717.00	5,128.80	M 7.10.21	大館市川口字隼人岱108-68 0186-42-9762
98	8	15	28,574.63	4,614.04	M 12.11. 2	大館市餌釣字前田75 0186-49-6155
58	8	15	30,660.33	5,568.56	M 7. 5.27	大館市十二所字大平190 0186-52-2818

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
花 岡 小	佐藤 潤	「勇気・つながり・チャレンジ」を合言葉に、教育目標「みんなとの幸せを願う、自立した子どもを育てる」の具現化を目指し、児童、教職員が協働し様々な活動に主体的に取り組んでいます。今年度は全校チャレンジ活動として「花小まつり～2026編～」 「花岡ピカキラ鳥湯会館ツアー」、学年チャレンジ活動として「アルミ缶回収」「地元企業とクリーンアップ」等、そしてチャレンジ授業を通して「チャレンジングな子」「心身共に健やかな子」「人を大切にする子」「学びを楽しみ・広げ・深める子」を育てていきます。
矢 立 小	宮野 田鶴子	教育目標「ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる児童の育成」のもと、創立152年目の今年度は、「地域に元氣と笑顔を届ける矢立っ子」「全力で授業に向かう矢立っ子」「プラス1して頑張る矢立っ子」を目指し、「かっこいい矢立っ子大作戦」を展開しています。「矢立っ子！」とコールすると「かっこいい!!」という元気な声が返ってくる全校児童23名と教職員15名の「矢立ファミリー」は、縦（異学年）と横（地域）のつながりを強みに、矢立の人・もの・こととの関わりを広げる「矢立笑活」校プロジェクトを進め、「矢立愛」を育てていきます。
南 小	佐藤 健	豊かな自然、歴史や文化財などの恵まれた教育環境を生かし、「いいね みなみっ子！ チームみなみでチャレンジ！」を合言葉に、ふるさとや仲間と関わりながら、夢や目標に向かって努力する子どもの育成を目指しています。創立51年を迎える今年度も「さつまいも夢プロジェクト」を中心とした「絆つくり教育プラン」の推進に力を入れ、秋田市大森山動物園、南中学校の生徒や各就学前施設の子どもたち、地域の福祉施設等と交流するとともに、南学区に新たな出会いを求めながら様々な方々とふれ合う機会をもち、絆をつむいでいきます。
扇 田 小	伊藤 智	毎朝、6年生が鳴らしてくれる「思いやりの鐘」の音とともに、扇田小学校の一日が始まります。平成14年に現在の場所に復活し、代々引き継がれてきました。本校では、学校教育目標「届けよう笑顔と幸せ」に掲げているように、扇田笑顔プロジェクトを柱としてふるさとキャリア教育を展開しています。子どもたちが150年の伝統を受け継ぎ、新たな歴史を刻みながら、今後も地域に笑顔と幸せを届けていきます。
西 館 小	田山 律子	学校教育目標「ふるさとと共にかがやき、よりよく生きる子どもの育成～ありがとうを丁寧な言葉と心を込めた振る舞いで伝えよう～」のもと、学校をテーマパークとし、学校に行きたいと思えるアトラクション（授業・行事等）づくりを意識しています。今年度は、言葉と振る舞いを大切に、「自分で 自分たちで」「発信！西館っ子」をキーワードに、自ら課題を見付けて積極的に活動に取り組む子どもの育成を目指しています。また、保育園、特別支援学校等との多様な交流活動を展開し、子どもと地域が共にかがやくことができるように教育活動を展開しています。
東 館 小	三澤 章子	500年あまり前、独結に居城を築いた浅利氏が残した史跡や文化と、全国に誇る特産物であるとんぶり・比内地鶏・十和田石等を育む大地を受継ぐ東館小は、旧三岳小と旧大葛小の伝統を融合させながら、ふるさとや仲間、地域の方々とのつながりを大切に、未来に向かって希望をもち、たくましく力強く歩む子どもの育成を目指しています。今年度も「東小っ子アクションプロジェクト」を柱としたふるさとキャリア教育では、とんぶり活動を中心にすえ、子どもや保護者、地域の方々の「いい顔・いい声・いい笑顔」があふれるよう展開していきます。そして、「みんなでがんばれば、みんなが楽しくなる」をキーワードに、家庭や地域と協働して教育活動を進めていきます。
早 口 小	工藤 貴胤	本校は、羽州街道に門を置く学校として、「早口川の徒渡り」や「はつらつ元氣農園活動」など、地域とつながり、地域に元氣と感謝を届ける活動に取り組んでいます。今年度は、「心はいつでもあたらしく 毎日何かしらを発見する」の精神のもと、「KC mind」を合い言葉に教育活動を進めます。K「気づき 考え 行動する」を自分の内側の力として、C「チャンス・チェンジ・チャレンジ」を外へ向かう力として、一人一人が主体的に学び、挑戦する子どもの育成を目指します。また、少人数校の強みを生かしながら、多様な考えに触れ、学びを広げる「全校協働型学習」に取り組めます。
山 瀬 小	米澤 貴子	「ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成」を学校目標に掲げ、ふるさとの風・恵みを感じて、ふるさとへの思いを育む多様な教育活動を展開しています。今年度の重点を、「挑む！～自分とみんなの幸せをつかむために～」とし、「たけのこの里でぐんぐん伸びる一人一人が成長点！～」を合言葉に、「やませっ子学びのスタイル」、「たけのこプロジェクト」（農園栽培・販売活動、ふるさとを歩こうデー、たけのこ和紙作り）や伝統文化である樺細工や代野番楽に触れる「スペシャルクラブ活動」を推進します。学校・家庭・地域が一体となったふるさとキャリア教育の充実を図り、竹の節のように児童一人一人の成長を目指します。
合 計		

(R8.5.1現在)

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
25	5	9	13,893.00	5,788.35	M 7.10. 7	大館市花岡町字根井下22 0186-46-1615
23	4	9	13,338.00	3,773.64	M 7.12.24	大館市白沢字白沢1149 0186-46-3012
71	8	15	22,574.63	4,923.44	(統合) S 51. 4. 1	大館市下川原字向野6 0186-49-5518
155	8	18	12,847.00	5,782.11	M 7.11. 5	大館市比内町扇田字白砂131 0186-55-0043
58	6	10	23,540.53	5,593.00	M 7.11.18	大館市比内町笹館字前田野77 0186-55-0324
35	6	10	23,026.00	3,384.65	M 7.10.25	大館市比内町独鈷字独鈷90-1 0186-56-2112
35	5	9	18,291.00	4,046.30	M 8.10. 5	大館市長坂字坂地岱12 0186-54-3033
90	7	12	18,864.00	3,801.04	(統合) S 37. 4. 1	大館市岩瀬字上軽石野39-18 0186-54-3036
2,167	146	272				

(2) 中学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
第 一 中	佐々木 長則	校訓「英知」「友愛」「忍耐」のもと、教育目標「ふるさと大館を愛し、共に磨き高め合い、今と未来を幸せに生きる生徒の育成」の具現化を目指します。今年度は、「心の育成」「自律」と「規律」のバランスを備えた集団の育成を指導の重点とし、「成長思考」を基盤にした全教育活動を展開することを通して、「学びづくり」「仲間・集団づくり」「心づくり」「健康づくり」「地域とのつながりづくり」「教職員集団づくり」に努めていきます。また、「学校のウェルビーイングの向上」を推進テーマに据え、生徒と教職員が心一つに“One Heart”で、明るく元気に創立80年目の歴史を刻んでいきます。
北 陽 中	阿部 剛士	教育目標「心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」のもと、これまで培ってきた「共感」「規律」「自己決定力」を備えた「振舞い」に磨きをかけ、今年度は「振舞いの深化」を目指します。また、「北陽地区防災学習会」をはじめとした、地域と連携・協働する活動を通して、地域と共に学び、地域と共に創る未来を語ることができる生徒の育成を目指します。さらに、「北の大地を照らす太陽のような学校」から「北の大地から大館を照らす太陽のような学校」への転換を図り、大館にとってなくてはならない学校であり続けるために、生徒と教師が共に創り上げる質の高い教育活動である「学美」を全ての教育活動で往還させ、教育目標の実現に向けて生徒と職員が一つになって突き進みます。
下 川 沿 中	成田 一彦	学校教育目標「ふるさとを愛し つながり、かわり合いながら 未来を切り拓く生徒の育成」の下、「英気」「叡知」「純情」の3つの校訓を体現するべく、より質の高い「挨拶」「授業」「掃除」を目指して取り組んでいます。地域を盛り上げるための「下川笑顔創造プロジェクト」をはじめ、ボランティアなどの地域貢献活動にも力を入れており、特に全校生徒で継承してきた伝統芸能「川口獅子踊り」は、今や本校の代名詞になっています。家庭・地域と一体となり、今年度のキーワードである「笑顔」があふれる少数精鋭のキラッと光る学校づくりを推進していきます。
南 中	加藤 達美	教育目標を新たに「思いや考えを行動につなげ なりたい自分を求め続ける生徒の育成」とし、「地域に愛され地域を明るくする学校」「協働性と達成感にあふれる学校」「未来の夢や目標を見いだせる学校」「生徒も教師も伸びる学校『チーム南中』」を目指します。南中型授業の核「直耕タイム」・「南中トライ60」や「南中しゃべり場」・保小中の異学年交流や全校縦割り活動、「地域ボランティア」などへ、校訓どおり「すなおに・ただしく・はつらつと・たくましく」取り組んで一層の充実を図りながら、地域の温かい見守りと協力のもと、なりたい自分を求め続けていきます。
成 章 中	川崎 裕	旧藩政時代の郷校成章書院の精神と伝統を受け継ぐ学校です。地域の福祉施設との交流活動や高齢者宅への花寄贈等のボランティア活動をはじめとした地域との連携・協働活動を中核に、地域と共に歩む学校です。学校教育目標「ふるさとを支え、自己と他者を尊重し、夢に向かって挑戦する生徒の育成」のもと、「成章スピリッツ～向学の志気を高め、未来を切り拓く～」を合言葉に、「自主：進んで活動する意欲」、「思考：共感的・協働的に学び合う」、「敬愛：対話を通して相互理解を図る」気持ちを意識しながら活動に取り組んでいます。
東 中	田中 覚	学校教育目標「真の美しさで、すべての人に幸せを届ける鳳雛の育成」のもと、鳳凰の雛である鳳雛(東中生)に対し、未来大館市民としての必要な資質・能力を身に付けさせ、社会に貢献できる人材の育成に努めています。今年度の学校経営キーワード及び生徒会テーマは「声敢真美～一歩前に踏み出し、願いを叶える東中生～」です。生徒と教職員がともに、自分そして地域とふるさとの輝かしい未来のために、今の自分に取り組めることに全力でチャレンジしています。合い言葉は「美しさ」「天晴れ」「幸せ」です！東中生のパワーで地域とふるさとに元気を届けます。
比 内 中	樋口 慎一	学校教育目標「ふるさとに根ざし、明るくたくましく生きる生徒の育成」のもと、「明朗」「剛健」「立志」の3つの校訓が、表情や行動として表れるように取り組みます。また、「ひない力～人とうまく関わる力、何事にもあきらめずに努力する力、今の学びを未来につなげる力～」を生徒に身に付けさせるために、「あしば(あいさつ、時間、場に応じた行動)」をしっかりと固めると共に、キーワードの「整える」を意識させ、5年目を迎える「とんぼりSDGs」の更なる進化を目指します。そして、比内中生一人一人が輝き、比内中が輝き、地域を元気にします。
田 代 中	鈴木 正樹	教育目標「ふるさとに誇りをもち、今と未来の幸せをつくる学校」のもと、「社会の中で生きて働く力＝キャリア発達」を軸とした「主体的実践力のある生徒」「共感的協働力のある生徒」「自己肯定感・自尊感情をもった生徒」の育成に取り組んでいます。さらに、基本的生活習慣及び学習習慣等の人間的基礎力を培う「JAKS運動」、代々受け継がれてきた集団演舞「田っ中ソーラン」、地域への貢献活動「地区ボランティア」等の生徒の主体的な活動を通して一体感と活気あふれる学校を目指しています。
合 計		

(R8.5.1現在)

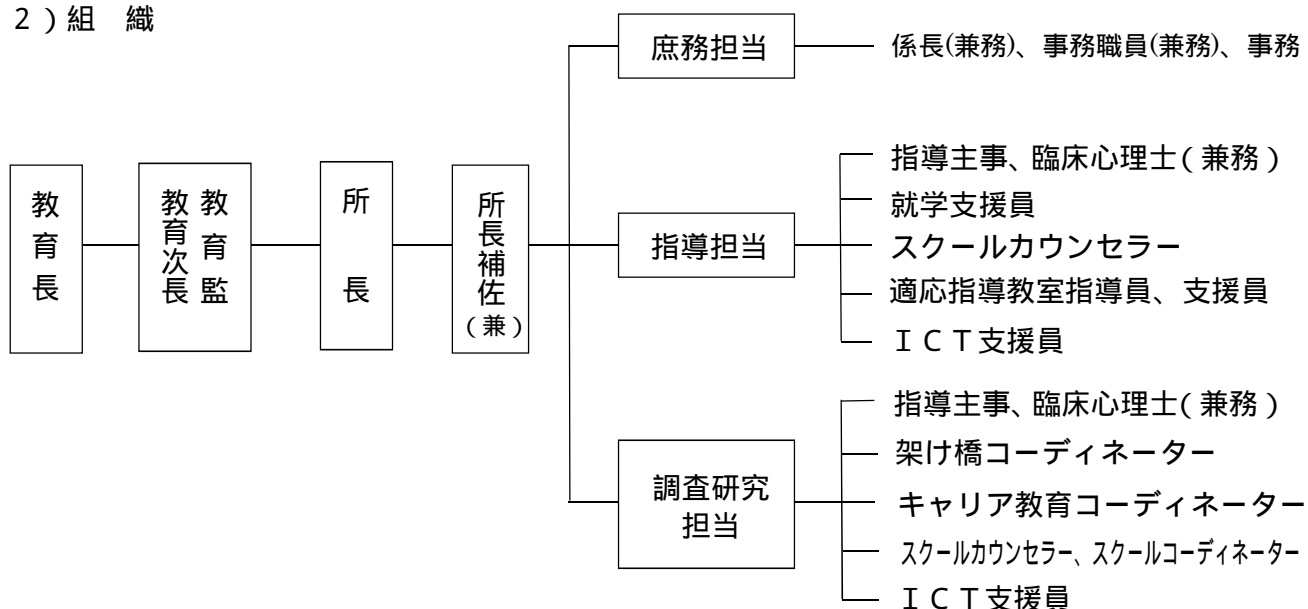
生徒数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
380	15	37	36,219.68	11,592.49	S 22. 5. 1	大館市北神明町10-1 0186-42-4177
107	6	19	23,934.00	5,562.65	H 27. 4. 1	大館市釈迦内字長者森1 0186-48-2935
34	5	16	26,593.00	3,947.20	S 22. 5. 1	大館市川口字隼人岱108-69 0186-42-9761
42	5	16	48,659.00	4,115.23	(統合) S 40. 4. 1	大館市二井田字小石台20 0186-49-5516
34	3	14	26,931.00	3,926.26	S 22. 4. 1	大館市猿間字中谷地10 0186-52-3022
362	16	32	38,869.69	7,994.29	(統合) S 45. 4. 1	大館市有浦五丁目2-8 0186-42-2835
138	8	23	58,744.00	7,936.00	(統合) S 45. 5. 1	大館市比内町扇田字新館野中岱12 0186-55-1505
84	3	11	69,893.00	7,027.80	(統合) S 43. 4. 1	大館市岩瀬字下軽石野2-2 0186-54-3042
1,181	61	168				

4. 教育研究所

(1) 所在地

大館市早口字上野43番地1 TEL (0186) 43-7114
FAX (0186) 54-6100
E-mail kyokenkyu@city.odate.lg.jp

(2) 組織



(3) 所員 20名

所長1名 所長補佐(兼務)1名 学事係長(兼務)1名 指導主事1名
事務職員(兼務)5名 臨床心理士(兼務)1名 事務1名
キャリア教育コーディネーター1名 架け橋コーディネーター1名
就学支援員1名 スクールコーディネーター1名 ICT支援員1名
市スクールカウンセラー1名 適応指導教室指導員2名
適応指導教室支援員1名

(4) 事業

指導・援助

- ・学校訪問による指導と援助
- ・教育諸調査の実施と分析、活用
- ・小学校英語教育の推進
- ・外国語指導助手、外国語活動支援員の活用
- ・市教育研究会への援助と協力
- ・学習指導要領、教育課程の実施に向けた指導と援助
- ・幼保小中高大連携の推進
- ・ふるさとキャリア教育の推進
- ・ICT活用の指導と援助

教職員研修

- ・教職員夏季研修会・ICT活用研修講座
- ・教職員研究実践発表会
- ・市内諸施設及び企業等見学会兼初任者研修
- ・講師研修会
- ・授業力向上支援研修



市内施設・企業見学会
(株式会社大館製作所の見学)



授業力向上支援研修会
(授業マイスターの授業参観・研究協議)

教育相談

- ・相談活動(子育て相談会、来所相談、電話相談、学校訪問)
- ・いじめ・不登校児童生徒の実態把握と指導・援助
- ・学校及び関係諸機関との連携による指導・援助
- ・幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」による指導・援助
- ・スクールカウンセラーの派遣

研修や指導に活かされる資料の収集及び情報提供

- ・所報「教育おおだて」
- ・諸研究会、研修会の情報提供
- ・先進的研究及び実践の紹介

子どもハローワークの運営

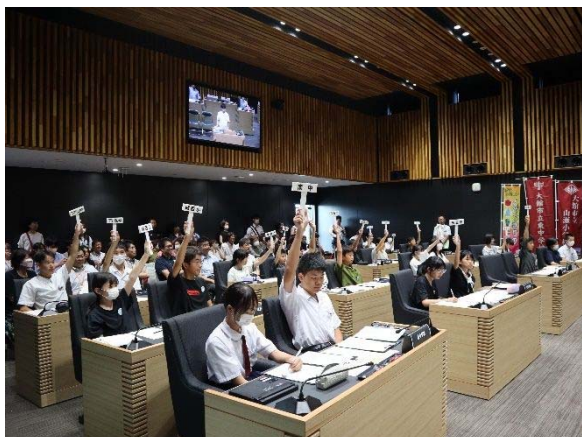
- ・きりたんぼまつり等への参加

子どもサミットの運営

- ・ペットボトルキャップ回収
- ・こでん回収
- ・学校独自の活動(様々なロス削減の活動、メディアコントロールに関わる活動)
- ・釜石児童生徒会「かまいし絆会議」との交流

(5) 主な事業から

< 大館市子どもサミット >



代表会議での活発な意見交換



釜石市訪問 かまいし絆会議との交流

< 子どもハローワーク >



きりたんぽまつりでのボランティア活動



薬剤師体験（青森大学）

5 . 教育研究会

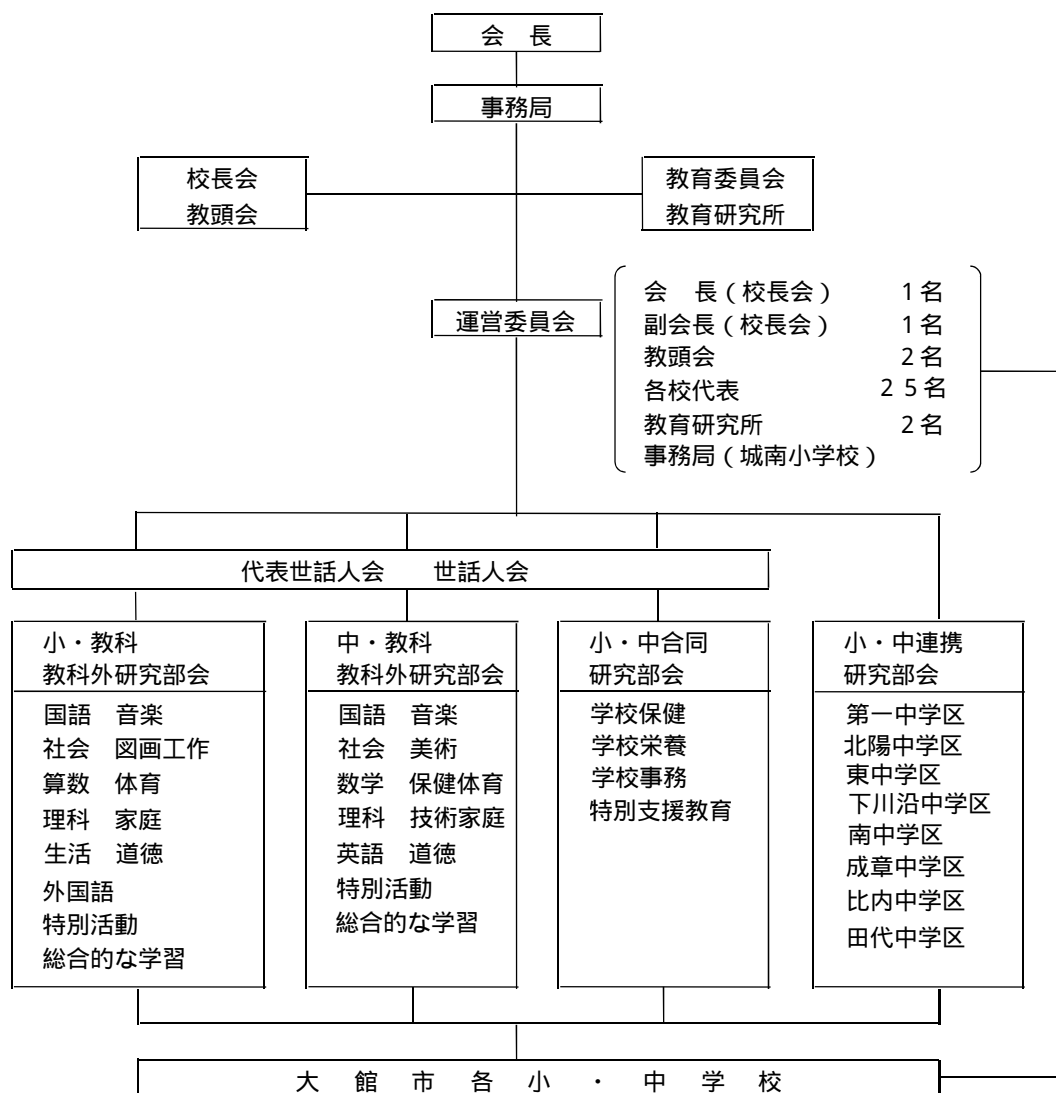
(1) 共通主題

「自立の気概と能力を備え、ふるさとの未来を切り拓く、児童生徒の育成」
～「協働的な学び」と「個別最適な学び」との一体的な充実による『おおだて型学力』の
深まりを目指して～

(2) 目 的

この会は、各校の特色を生かしながら大館市の教育の共通課題に対して計画的研修・実践活動を行い、教職員の資質を高めるとともに、関係教育機関と協力して大館市の教育の充実発展を図ることを目的とする。

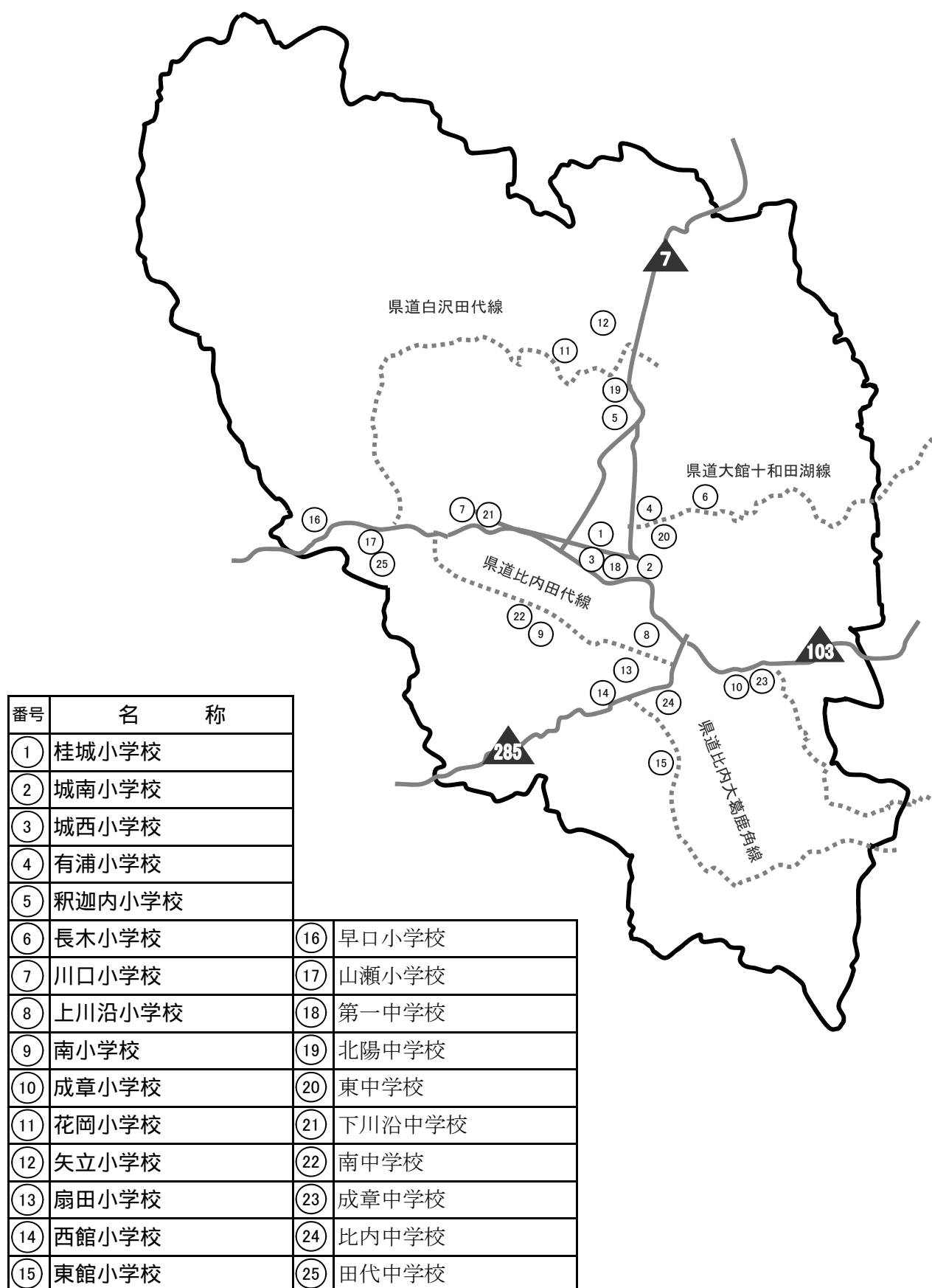
(3) 運営機構



(4) 今年度の事業計画

- 4月16日 第1回総合研究会 (13:30～ほくしか鹿鳴ホール・中央公民館等)
- 5月 7日 第1回運営委員会 (城南小学校)
- 5月 7日 第1回研究紀要編集委員会
- 10月15日 中学校教科部会第2回総合研究会 (午後)
- 10月16日 小学校教科部会第2回総合研究会 (午後)
- 11月 5日 第2回総合研究会 (午後)
- 特別の教科：道德 教科外：特別活動
- 11月 6日 合同：特別支援教育、学校事務、学校保健、学校栄養
- 12月22日 第2回研究紀要編集委員会 (午後 城南小学校)
- 2月 4日 第2回運営委員会 (午後 城南小学校)
- 3月 研究紀要「究」発行

6．大館市立小学校・中学校所在地



<授業力向上支援研修での授業風景>



教育専門監による国語の授業（釈迦内小）

授業マイスターによる数学の授業（南中）



<子どもハローワーク>



職場体験 消防士の仕事

アメッコ市 ジャンボ枝アメ作り



第4編 保健・給食

1. 学校保健

(1) 目 標

「自分のからだを知って、心もからだも健康な生活を送れるようにする」ことを目標に、各種の健康診断を実施し、活用しています。当面の課題として、学校保健委員会を有効に機能する方策について、各校とも工夫しているところです。

(2) 事 業

内科検診 歯科検診 眼科検診 尿検査 脊柱・運動器検診
耳鼻科検診 (小学校1・5学年、中学校1学年)
貧血検査 (小学校5学年、中学校2学年)
脊柱側弯検査 (小学校5学年)
心電図検査 (小学校1・4学年、中学校1学年)

(3) 小・中学生の体格

(単位：身長cm、体重kg)

(R7年度)

性別	項目	区分	小 学 校						中 学 校		
			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	1 学年	2 学年	3 学年
男 子	身長	大館	117.4	123.3	128.8	135.6	140.5	147.8	154.9	163.4	167.1
		県	117.9	123.4	129.6	136.1	140.7	148.0	155.8	162.9	167.0
		全国	116.6	122.7	128.3	134.0	139.5	146.1	153.8	161.1	166.1
	体重	大館	21.8	25.0	28.8	33.0	37.3	41.1	47.4	54.0	56.9
		県	22.3	25.1	28.6	33.4	36.0	42.1	47.9	52.8	55.8
		全国	21.4	24.2	27.4	31.2	35.1	39.6	45.2	50.4	55.0
女 子	身長	大館	116.4	123.0	128.9	135.3	142.1	148.1	152.8	155.1	157.0
		県	116.5	123.1	129.1	135.8	142.2	148.6	153.4	155.5	157.2
		全国	115.6	121.6	127.5	133.8	140.9	147.4	152.4	155.0	156.4
	体重	大館	21.3	25.1	28.7	31.7	35.8	41.4	46.4	50.2	52.5
		県	21.3	24.3	27.8	32.5	36.6	40.9	45.7	48.3	51.2
		全国	21.0	23.6	26.8	30.4	34.9	39.8	44.4	47.5	49.7

2. 学校給食

(1) 目 標

成長期にある児童生徒の健康の保持増進と、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して、好ましい人間関係を育成する。

(2) 概 要

小・中学校合わせて25校全校で完全実施されています。

学校給食においては、郷土料理や地場産物を活用した献立や、健康づくりに配慮した献立を実施し、食育に取り組んでいます。また、各校においては、行事食やバイキング給食などを実施し、特色ある楽しい給食を目指しています。

(3) 学校給食実施状況

<完全給食>

(R7.5.1現在)

施 設 名	開 設 年月日	食 数	一週間の 実施回数	対 象 校	施 設 面 積
桂城小学校	S42. 5. 2	250	5日(米飯 3回)	桂城小	142.50m ²
城南小学校	S49. 1.22	286	5日(米飯 3回)	城南小	260.00m ²
城西地区 学校給食センター	H14. 4. 1	709	5日(米飯 4回)	城西小、一中	519.00m ²
西地区 学校給食センター	H 9. 4. 1	292	5日(米飯 4.5回)	川口小、南小、下川沿中、 南中	458.89m ²
成章 学校給食センター	H 7. 4. 1	237	5日(米飯 4回)	成章小、上川沿小、成章中	399.09m ²
比内 学校給食センター	H16. 4. 1	452	5日(米飯 4回)	扇田小、西館小、東館小、 比内中	954.35m ²
田代 学校給食センター	S56. 4. 1	244	5日(米飯 4.5回)	早口小、山瀬小、田代中	658.28m ²
北地区 学校給食センター	H20. 4. 1	1,393	5日(米飯 3回)	有浦小、釈迦内小、長木 小、花岡小、矢立小、北陽 中、東中	1,371.87m ²
計	8 施設	3,863		小学校 17校 中学校 8校	

第5編 社会教育

令和8年度 大館市社会教育推進計画

1. 大館市における社会教育の基本方針

今日の社会を取り巻く情勢は、人口減少・少子高齢化、社会構造の複雑化、高度情報化社会の進展などにより大きく変化している。

このような状況の中、年齢、性別、人種、障がいを超えて多様性を受け入れ、誰もが社会にとって大切な存在として、一人ひとりの個性と能力が発揮できる地域づくりを進め、人生100年時代を見据えた、少数精鋭のまちづくりを目指した社会教育の推進が求められている。

「第8次大館市社会教育中期計画」では、「おおだて未来づくりプラン」との整合性を図り、「ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習社会の推進と支援」を基本目標とし、地域に根ざしたウェルビーイングを目指して、「めざす姿」、「市の取り組み」等を掲げ、ふるさとキャリア教育・学習の推進と社会教育の一層の連携・推進を図るための指針としている。

2. 令和8年度大館市社会教育推進の重要施策

基本目標：ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援

重点施策

(1) ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める

達人講座の実施及び出前講座等の充実

公民館事業への青少年の参加促進

(2) 市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する

生涯学習推進体制の充実

大館学び大学事業の定着

「大学公開講座」、「大学校市民公開講座」の開催

超高齢社会に対応した生涯学習の充実

(3) 「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る

学校支援活動事業の推進

家庭教育の充実

放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施（生涯学習課）

青少年健全育成活動及び少年相談センターの活動の充実

社会教育委員の活動の充実

(4) 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する

「まちづくり会議HACHI」の活動への支援

- (5) 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
 - 「生涯学習フェスティバル」の実施
 - 地区住民や関係団体との連携強化
 - 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
 - 公民館事業の充実と参加促進
 - 木育事業の実施
- (6) 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める
 - 図書館運営に関する進行管理
- (7) 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
 - 芸術文化の鑑賞及び体験機会の提供
- (8) 大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
 - 企画（特別）展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
 - 博物館講座等の開催と研究紀要の発行
- (9) 郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
 - 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
- (10) 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
 - ニホンザリガニの生息地再生と増殖
 - 市内遺跡発掘調査及び記録出土品整理
 - 国指定名勝「鳥潟会館庭園」の保存と活用
- (11) 歴史的風致維持向上に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
 - 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援

3 . 社会教育施設一覧・利用状況

[1] 施設一覧 (R8.5.31現在)

施設名	設立年	建 築 床面積	区域人口 (世帯数)	館 長 名	専兼 非別	職 員		専併 非別
						職	氏 名	
中央公民館	昭和21年	4,500.75 m ²	25,841 (13,012) 人	羽 沢 秀 則	兼	係 長 主 査 主任 (再任用) 主任主事 会計年度任用職員 " "	若 狭 健 佐々木 孝 幸 一 関 留美子 畠 山 俊 輔 片 岡 恵 石 田 里 美 柴 田 さくら	専 " " " " "
釈迦内公民館	昭和25年	1,279.29	5,796 (2,825)	日 景 省 蔵	非	主 査	畠 沢 昌 人	併
長木公民館	昭和28年	775.33	3,239 (1,523)	石 田 晴 子	非	主 査	大 森 篤 志	併
長木公民館 雪沢分館	昭和30年	441.30	367 (177)	川 田 公 一	非			
上川沿公民館	昭和28年	2,835.39	2,096 (972)	戸 田 孝 彦	非	主任 (再任用) "	三 澤 明日子 吉 田 厚 子	併 "
下川沿公民館	昭和28年	777.44	4,485 (2,206)	佐 藤 眞 人	非	主 査	小 林 聖 一	併
真中公民館	昭和32年	541.06	982 (433)	五十嵐 芳 子	非	係 長	加 賀 正 史	併
二井田公民館	昭和30年	676.95	1,402 (645)	一 関 雅 幸	非	係 長	工 藤 雄 一	併
二井田公民館 麓西分館	昭和62年	756.69	357 (146)	芳 賀 健 史	非			
十二所公民館	昭和27年	622.29	2,670 (1,449)	吉 成 真	非	主 査	成 田 浩 司	併
花岡公民館	昭和30年	1,028.86	1,894 (962)	伊 勢 善 和	非	係 長	岩 谷 憲 昭	併
矢立公民館	昭和41年	3,070.15	1,217 (582)	若 松 俊 一	非	係 長	山 内 浩 樹	併
比内公民館	昭和30年	3,181.22	7,926 (3,566)	若 宮 司	非	主 査 会計年度任用職員	加 賀 至 小 玉 紀菜美	専 "
比内公民館 扇田分館	昭和30年	比内公民館内	3,653 (1,752)	明 石 和 夫	非	主 事	萬 田 清 一	非
比内公民館 西館分館	昭和30年	構造改善 センター内	1,726 (717)	渡 部 昭 彦	非	主 事	多賀谷 隆 文	非
比内公民館 八木橋分館	昭和30年	517.77	400 (153)	長谷部 勇 弘	非	主 事	佐々木 晃 吉	非
比内公民館 東館分館	昭和30年	336.20	935 (403)	神 成 幸 忠	非	主 事	野 呂 忠 朗	非

所在地	電話番号	備 考
大館市字桜町南45-1	0186-42-4369	昭21. 9 大館町議会、公民館設置を議決する 昭21.11 御大典記念公会堂「公民館」として設置 昭30. 3 名称を「中央公民館」と改称、衆楽園に移転 昭49. 9 県立桂高校跡地に移転、スポーツ館併設 昭60.12 改築 平15. 4 サンアビリティーズ大館を雇用能力開発機構より譲渡
〃 釈迦内字上大留6	0186-43-7117	昭55.10 移転改築 平 4. 3 改築 (倉 庫 79.48㎡) 令 6. 2 改修
〃 上代野字八幡岱24-1	0186-43-7118	平28.12 改築
〃 雪沢字上谷地55-3	-	昭56.10 改築
〃 池内字大出135	0186-42-0836	平25.12 交流センターへ移転
〃 川口字隼人岱108-55	0186-49-0271	昭53. 9 改築 (倉 庫 20.15㎡) 平27. 1 改築 (本館・講堂 757.29㎡)
〃 出川字上野30	0186-49-5928	昭58.11 改築 (廊下 32㎡ 倉庫 124㎡) ・農林業多目的研修集会施設(昭56.3 新築)を管理運営
〃 二井田字高村1	0186-49-4121	平19. 1 改築 (倉 庫 36.43㎡) (ポンプ室 3.54㎡)
〃 比内前田字下前田8	-	昭62. 4 旧麓西振興会館に設置 平元.12 改築 (倉 庫 48.2㎡) ・麓西体育館(平2.2 新築564.40㎡)を管理運営
〃 十二所字元館1-1	0186-43-7123	平24. 1 改築 (ポンプ室 7.45㎡)
〃 花岡町字前田102-3	0186-43-7124	昭60. 2 改築 (ポンプ室 6.34㎡) 昭60. 3 増築 (倉 庫 20.00㎡) 平10. 1 事務室増築 令 6. 2 改修
〃 白沢字白沢1149	0186-43-7125	平28.12 旧矢立中学校へ移転 (物 置 154.87㎡) (焼却炉 10.00㎡) (3, 4階 590.57㎡)
〃 比内町扇田字庚申岱8	0186-43-7141	平20.12 改築 (公民館 2,516.98㎡) 図書館、郷土民俗資料館増設 (付属体育館 644.51㎡) (機械室他 19.73㎡)
〃 比内町扇田字庚申岱8	-	比内公民館内
〃 比内町達子字曲谷地62-7	-	平 3 新築 構造改善センター内 (241.805㎡)
〃 比内町八木橋字畠沢岱16	-	平14 旧八木橋小学校(昭30建築)の理科室と音楽室を、 講堂分館として活用
〃 比内町独鈷字小館下18-2	-	昭51 新築 東館コミュニティセンターを分館として活用

施設名	設立年	建 築 床面積	区域人口 (世帯数)	館 長 名	専兼 非別	職 員		専併 非別	
						職	氏 名		
比内公民館 味噌内分館	昭和30年	m ² 223.90	人 245 (104)	柴 田 拓 持	非	主 事	佐 藤 正 喜	非	
比内公民館 三岳分館	昭和30年	旧三岳小学校内	591 (251)	本 間 昭 弘	非	主 事	本 間 賢 一	非	
比内公民館 大葛分館	昭和30年	高齢者若者 センター内	376 (186)	嶋 田 淳	非	主 事	長 内 冬 樹	非	
田代公民館	昭和51年	2,059.90	4,956 (2,245)	北 林 孝 男	非	係 長 会計年度任用職員	田 村 論 佐々木 美穂	専 〃	
田代公民館 早口一分館	平成17年	995.95	860 (369)	佐 藤 正 夫	非	主 事	富 樫 滋	非	
田代公民館 早口二分館	昭和58年	473.90	653 (306)	五十嵐 香 平	非	主 事	宮 本 隆 俊	非	
田代公民館 本郷分館	昭和52年	284	168 (83)	高 橋 誠	非	主 事	五十嵐 耕 司	非	
田代公民館 岩野目分館	昭和49年	451.01	269 (124)	工 藤 斎	非	主 事	小 林 秀 樹	非	
田代公民館 大野分館	昭和47年	1,195.10	96 (49)	工 藤 秀 雄	非	主 事	安 保 敬 一	非	
田代公民館 岩瀬分館	昭和55年	407.79	659 (304)	田 村 諭	非	主 事	三 浦 敏 司	非	
田代公民館 谷地の平分館	昭和52年	457.02	1,051 (485)	伊 藤 一 寿	非	主 事	古 家 明	非	
田代公民館 赤川分館	昭和53年	595	503 (220)	藤 田 馨	非	主 事	北 林 正 人	非	
田代公民館 越山分館	昭和48年	356.40	219 (112)	石 井 充 伸	非	主 事	小 林 幸 宏	非	
田代公民館 山田分館	昭和50年	599.47	478 (193)	岩 沢 繁	非	主 事	田 村 紀 穂	非	
大館市民交流 センター	昭和57年	866.55	63,228 (30,743)	羽 沢 秀 則	兼	会計年度任用職員 〃 〃 〃	河 田 美智子 小 濱 朗 子 島 内 美佳子 長 崎 恵 美	専 〃 〃 〃	
松下村塾	昭和59年	60.17	63,228 (30,743)						

所 在 地	電話番号	備 考
〃 比内町味噌内字鬼ヶ沢10	—	昭57 旧東館小学校第一分校（昭32建築）を分館として活用 同年内装工事実施 平18 2月一部解体(237.94㎡) 7月改築
〃 比内町中野字上客路橋17	—	平18 旧三岳小学校（昭28～38建築）校舎の一部を分館施設として活用
〃 比内町大葛字大葛家後74-3	—	平 3 新築 大葛高齢者・若者センター内
〃 早口字上野43-1	0186-43-7126	昭51. 8 新設 総合開発センター 平17. 6 改称 田代公民館・付属体育館 595.00㎡
〃 早口字上野55-8	—	平17. 2 購入 早口営林署庁舎（昭51建築） 平17. 6 改修 早口一分館として開設 （倉 庫 7.75㎡）
〃 長坂字宝田岱33-35	—	昭59. 1 新設 田代西公民館 平17. 6 改称 早口二分館
〃 早口字上屋敷66-2	—	昭52. 5 本郷児童館より転用 昭54. 8 改築 本郷公民館 平17. 6 改称 本郷分館
〃 早口字岩野目22	—	昭49. 9 新設 岩野目地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 岩野目分館
〃 早口字大野1-4	—	昭47.12 新設 大野地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 大野分館 平26 大野体育館が移管
〃 岩瀬字大柳95-6	—	昭56. 3 新設 岩瀬公民館 平17. 6 改称 岩瀬分館
〃 早口字深沢岱40-4	—	昭52.10 新設 谷地の平公民館 平14. 4 改築 平17. 6 改称 谷地の平分館
〃 岩瀬字赤川20	—	昭54. 3 新設 赤川公民館 平17. 6 改称 赤川分館
〃 岩瀬字越山向岱77-5	—	昭48.11 新設 越山地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 越山分館
〃 山田字寺下42	—	昭50.11 新設 山田地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 山田分館
〃 根下戸新町6-13	0186-49-7028	昭57. 4 新築 働く婦人の家 平13. 4 改称 女性センター 令元.12 木育ひろば開設 令4. 4 改称 大館市民交流センター
〃 字谷地町12	—	昭59.10 新築 平29. 4 移築

施設名	設立年	建 築 床面積	区域人口 (世帯数)	館 長 名	専兼 非別	職 員		専併 非別	
						職	氏 名		
少年相談 センター	昭和39年	m ² 中央公民館内	人 63,228 (30,743)	高 橋 秀 一	兼	少年指導・相談員	櫻 庭 博 子	専	
桂城 児童センター	昭和56年	499.50	5,212 (2,686)	畠 山 慶 子	非	会計年度任用職員 "	兜 森 百合子 米 澤 美 佳 成 田 貴 子	非 "	
釈迦内 児童センター	昭和63年	397.00	5,334 (2,613)	"	"	会計年度任用職員 "	日 景 由紀子 高 田 一 恵 加 藤 真由子	非 "	
城西 児童センター	平成15年	407.11	5,947 (2,975)	"	"	会計年度任用職員 " " " "	三 浦 ゆかり 竹 村 ひとみ 本 間 恵 子 藤 島 葉 子 金 谷 千佳子	非 " " " "	
有浦児童会館	昭和55年	350.93	8,778 (4,235)	"	"	会計年度任用職員 " " "	河 野 佐知子 佐々木 美 香 古 田 未 宇 谷地田 千 明	非 " " "	
有浦児童会館 分館	平成24年	269.21				会計年度任用職員 " "	池 田 江利子 古 家 智 子 大 森 美喜子	非 " "	
城南児童会館	平成11年	229.01	7,821 (4,062)	"	"	会計年度任用職員 " " "	田 畑 美香子 畠 山 弥 生 澤 口 真 貴 多賀谷 恵 子	非 " " "	

所 在 地	電話番号	備 考
〃 字桜町南45-1	0186-42-0769	昭39. 7 県が大館市少年補導センター開設 昭46. 3 大館市に移管 昭57. 7 大館市少年相談センターと名称変更
〃 水門町1-5	0186-49-4708	昭56.12 新築
〃 釈迦内字相染台24	0186-48-4486	昭63. 4 新築
〃 城西町8-1	0186-43-6153	平15. 7 新築
〃 有浦四丁目6-43	0186-49-4420	平19.11 新築
〃 有浦一丁目8-33	0186-42-3131	平24. 3 改築
〃 字桜町7-2	0186-42-8719	平24. 3 改築

[2] 利用状況

(単位：人)

施設名		年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
公 民 館	中 央		79,105	76,974	78,812	81,440	75,952
	釈 迦 内		11,830	11,737	13,104	13,277	11,316
	長 木		16,770	15,038	17,718	15,988	18,769
	雪沢分館		1,234	1,126	1,086	1,306	1,562
	上 川 沿		19,655	22,666	22,766	21,168	20,178
	下 川 沿		8,754	7,783	9,299	9,290	8,950
	真 中		4,464	4,290	6,086	4,836	4,393
	二 井 田		7,072	6,222	6,771	7,130	6,561
	麓西分館		1,359	925	1,299	1,482	1,009
	十 二 所		5,946	5,392	5,724	5,296	6,412
	花 岡		11,390	10,714	10,071	9,990	10,951
	矢 立		5,671	5,672	6,794	9,535	7,981
	比 内		22,440	22,952	25,283	27,880	27,579
	扇田分館		-	-	-	-	-
	西館分館		-	-	-	-	-
	八木橋分館		72	80	125	182	163
	東館分館		2,614	3,096	2,581	3,051	2,636
	味噌内分館		683	587	676	800	719
	三岳分館		419	35	109	317	450
	大葛分館		-	-	-	-	-
	田 代		9,172	9,100	9,624	9,240	9,114
	早口一分館		1,062	1,088	1,488	1,313	981
	早口二分館		701	699	1,085	1,335	1,132
	本郷分館		675	594	610	692	629
	岩野目分館		967	1,268	1,269	961	982
	大野分館		1,351	960	951	720	260
	岩瀬分館		1,135	1,096	1,606	1,697	1,850
	谷地の平分館		2,218	2,137	3,090	3,134	3,356
	赤川分館		1,726	1,827	2,586	2,239	2,443
	越山分館		674	532	685	566	506
	山田分館		2,190	1,841	2,156	2,266	1,833
市民交流センター（旧女性センター）			11,186	11,751	10,922	10,994	10,756
勤労青少年ホーム（R4廃止）			7,265	-	-	-	-
松 下 村 塾			599	391	411	560	353
児 童 育 成 施 設	桂城児童センター		19,250	20,313	21,957	20,403	18,047
	釈迦内児童センター		15,035	11,756	10,731	11,794	12,207
	城西児童センター		14,058	16,930	17,294	21,473	17,685
	有浦児童会館		17,851	15,046	17,368	16,602	15,625
	有浦児童会館分館		12,716	10,115	10,587	10,306	10,987
	城南児童会館		12,228	12,373	10,989	7,497	7,916

4. 各施設の概要

[1] 公 民 館

令和 8 年度 大館市公民館事業計画

【運営方針】

公民館は、これまで地域における住民の学習の場として、また、住民の地域活動を支え、地域コミュニティづくりの中核をなす施設として、大きな役割を果たしてきました。しかしながら、昨今の公民館を取り巻く環境は、超高齢社会、若者の流出による人口減少に伴う地域の担い手不足などの課題を抱えています。

そのような課題を解決するため、誰もが学べる環境づくりとして、多様な学習機会の提供、学習団体・グループの育成、支援、そして幅広い年齢層が参加しやすい事業を展開することにより、地域と育む市民の意識向上を目指します。

【重点目標】

1. 地域コミュニティづくりへの支援活動強化
2. 地区公民館連携事業の活動への支援
3. 高校生まちづくり会議「HACHI」の活動への支援
4. 地区の特色を活かした事業の創出
5. 小学生・中学生・高校生・大学生の公民館事業への参加
6. 世代間交流事業の充実
7. 施設の改修や修繕、防災拠点としての安全対策
8. 社会人の学び直し

【事業内容】

1. 中央公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・わんぱくスクール ・夏休み将棋教室 ・夏休み囲碁教室 ・新春書き初め交流会	7月～1月 7月 7月 1月
	若年 ・高校生まちづくり 会議「HACHI」	6月～2月
	高齢者 ・大館市老壮大学	4月～2月
	・大館学び大学	5月～3月
芸術文化	生涯学習フェスティバル ・サークルまつり	9月26～27日
社会体育	・大館市ラジオ体操会 (三世代交流事業)	4月25日～ 10月3日
広報	・中央公民館だより	4月～3月



わんぱくスクール（子どもの護身術）



老壮大学クラブ活動

大館学び大学

1. 事業の目的

【郷土愛の醸成、大館を支える人材の育成】

学びによる人材育成

専門的知識の習得

若い世代の公民館利用の促進

高齢化対策（全世代が生き生きと安心して暮らせるように）

2. 事業内容

大館学び大学ポータルサイトの運営

学びに関する講座の企画と実施

S N S を活用した情報の発信

教育視察の受け付けサポート

民間企業と連携した事業の展開

大館学び大学備品の貸付

【令和7年度事業実績】

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| ○ 伝統文化 | ○ ものづくり講座 | ○ お仕事講座 |
| ・ からからんず講座 | ・ あみもの講座 | ・ 管理栄養士講座 |
| ・ 大館曲げわっぱ講座 | ・ パッチワーク講座 | ○ 農業講座 |
| ・ 生け花講座 | ○ 生活講座 | ・ とんぶりのお話と料理 |
| ○ 健康講座 | ・ きりたんぽ出汁の取り方 | ・ 家庭菜園講座 |
| ・ ゴルフ講座（3回） | ・ 断捨離講座 | ○ 企業連携講座 |
| ・ 寺ヨガと薬膳講話 | ○ 実用講座 | ・ ライフプランニング講座 |
| ・ 寺ヨガと写経講座 | ・ ボールペン字講座 | ・ 先人の思い講話（3回） |
| ・ 薬膳講座 | ・ ノート&メモ術講座 | ・ エンディングノート講座 |
| ○ 外国語講座 | ・ 筆ペン講座 | |
| ・ 韓国語講座（2回） | ・ ボイストレーニング講座 | |

講座数 30 参加者合計 418 名

教育視察受付件数 20 件

備品貸付件数 12 件

【令和8年度事業計画】

1. 講座

事業名	講座内容	講座数
外国語講座	・ 英会話講座	2
健康講座	・ ゴルフ講座（全3回） ・ ピックルボール体験講座 ・ ヨガ講座	5
実用講座	・ Canva で名刺作り、簡単シール作り ・ 筆ペン、ボールペン字講座	4
生活講座	・ プロから学ぶおせち料理 ・ 断捨離講座 ・ ゆかたの着かた講座	3
伝統文化	・ ひらがなで写経講座 ・ 生け花講座 ・ みんなで一緒に盆踊り	3
農業講座	・ とんぶりのお話ととんぶり料理 ・ 家庭菜園講座	2
ものづくり講座	・ あみもの入門講座 ・ 絵画講座	2
お仕事講座	・ パリスタ講座 ・ 地域おこし協力隊講座	2
企業連携講座	・ 介護にまつわるお金の話 ・ エンディングノート講座	2

講座数 25

令和7年度大館学び大学 学びの風景



からからんず講座



ものづくりに懸ける思い



韓国語講座



ゴルフ講座



きりたんぽ講座



曲げわっぱ講座



パッチワーク講座



ボイストレーニング講座

2 . 釈迦内公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	幼児～高齢者 ・三世代交流会	1月
	高齢者 ・相染慶老大学	5月～3月
	成人 ・温故知新会	年2～3回
芸術文化	釈迦内地区文化祭	11月
社会体育	各種スポーツ大会	6月～3月
広報	公民館だより	4月～3月



相染慶老大学

3 . 長木公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・PTA交流会	2月
	女性 ・女性教室(女の教室)	4月～3月
	一般 ・館外研修会	7月
	高齢者 ・長寿学級	4月～3月
芸術文化	公民館祭	11月
社会体育	シン・NAGAKI オリンピック 2026	5月
	各種スポーツ大会	7月～3月
広報	公民館だより	4月～3月



シン・NAGAKI オリンピック 2026

4．上川沿公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	子どもから成人 ・こども園絵画展 ・とっと工房アート展	随時
	女性 ・料理教室 (婦人会と連携)	
	成人一般 ・健康教室 ・防災講習会 ・ホール展示	
芸術文化	ふるさと文化祭	11 月
	春をよぶ音楽祭	2 月
社会体育	住民運動会	6 月
	各種スポーツ大会	5 月～3 月
広報	公民館だより	4 月～3 月



上川沿地区住民運動会（令和 7 年 6 月）

5．下川沿公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・雪上レクリエーション	2 月
	高齢者 ・ロイヤル学級学習会及 び館外研修	4 月～3 月 15 回開催
	一般 ・幼、小、中、PTA、 公民館合同研修会	随時
芸術文化	地区文化祭	10 月
社会体育	地区住民親睦運動会	6 月
	各種スポーツ大会	6 月～3 月
広報	公民館だより	4 月～3 月



下川沿保育所園児最後の文化祭出演
（令和 7 年 下川沿地区文化祭）

6．真中公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	幼児 ・コスモス・マリーゴールド花畑植栽体験	6月
	少年 ・算数・数学、 ふるさと学び教室	8月
	高齢者 ・いきいき学級	4月～3月
芸術文化	コスモス・マリーゴールド植栽、撮影会	6月～9月
	真中地区文化祭	10月
	昭和の農村風景 写真展	5月～7月
体育 社会	真中地区大運動会	6月
広報	公民館だより	4月～3月



真中地区大運動会

7．二井田公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・住民交流会 ちびっこたんぽ会	11月
	高齢者及び成人 ・公民館交流サロン	5月～3月
	高齢者（麓西地区） ・ハチ公学級	年3回
	女性 ・女性学級	12月
芸術文化	二井田地区文化祭	11月
社会体育	二井田地区住民運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月～2月
	麓西地区三世代交流会	8月
	麓西地区交流 ユニカールの集い	3月
広報	公民館だより	4月～3月



二井田地区住民運動会

8. 十二所公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	一般 ・成人学級 ・健康教室 ・ポッチャ教室	4月～3月
	少年、一般 ・かまくらやき	2月
芸術文化	・ブルース・ミニッツライブ	10月
	・文化祭	11月
社会体育	・十二所地区スポーツ・レクリエーション祭 ・十二所地区駅伝大会	6月 10月
	各種スポーツ大会 (モルック、ポッチャ、ユニカール)	6月～12月
広報	公民館だより	4月～3月

9. 花岡公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・ひょうたん子学級 (子ども公民館) ・学童野球大会	12月・1月 7月
	高齢者 ・長寿大学	4月～3月
	一般 ・花いっぱい運動	6月～10月
芸術文化	産業文化祭	11月
社会体育	各種スポーツ大会	5月～3月
広報	公民館だより	4月～3月

10. 矢立公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	乳幼児・児童 ・矢立地区クリスマス交流会	12月
	一般 ・矢立峠散策会	5・7・10月
	一般 ・すこやか教室	4月～2月
	女性 ・矢立婦人団体学習支援事業	12月～3月
芸術文化	公民館祭り	10月
社会体育	各種スポーツ大会	6月～2月
広報	公民館だより	4月～3月



十二所地区スポーツ・レクリエーション祭



社会教育一般
令和7年6月
(花いっぱい運動)



公民館祭り

11. 比内公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	成人 ・比内あおぞら学園 《教養科目》 ・講話 ・館外研修ほか 《選択科目》 ・合唱 ・書道 ・歴史 ・ポッチャ ・体操 ・スマホ	5月～12月
	一般 ・花育講座 ・星空観望会 ・比内地鶏料理講座 ・蕎麦打ち講座	夏季～秋季 夏季 夏季～秋季 冬季
芸術文化	比内芸術文化祭 文化講演会 新春書き初め会 音楽鑑賞会	11月 11月 1月 2月
社会体育	分館対抗スポーツ大会 ポッチャ交流大会	7月 秋季
広報	公民館だより (web版のみ)	4月～3月



比内芸術文化祭

比内公民館分館

分館名	主 な 事 業
扇 田	分館運営協力員会議(随時)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・扇田地区運動会(9月)・とっとこども駅伝(9月)
西 館	分館運営委員会(随時)・クリーンアップ(4・10月)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・達子森夏祭りへの協力(7月)・西館地区市民運動会(8月)・西館ユニカル大会(11月)・西館ふれあい祭り(2月)・西館ポッチャ大会(3月)・比内支部長杯ユニカル大会(3月)
東 館	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(5月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・東館地区レクリエーション交流会(10月)
八木橋	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(4月)・さなぶり運動会(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・達子森夏祭りへの協力(7月)・ポッチャ交流会(10月)
三 岳	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・きりたんぽ交流会(10月)・雪中田植え、交流会(2月)
味噌内	分館運営委員会(随時)・クリーンアップ(4月)・花いっぱい運動(6月)・健康づくり教室(6月、9月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・ユニカル大会(7月)・住民納涼交流会、子供会交流会(9月)・住民交流新年会(1月)・老壮交流会(2月)・文化講演会(3月)
大 葛	分館運営委員会(随時)・ベニヤマコテージ草刈り(5月)・旧大葛小学校美化清掃(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・大葛紫陽花祭り(7月)・大葛温泉祭り(7月)・比内合同盆踊り・花火大会(8月)・部落対抗ユニカル大会(11月)・大葛地区新年会(1月)



新春書きぞめ会

12. 田代公民館

区分	事業名	開催時期
社会教育	少年 ・キッズカレッジ ・たしる学舎	5月～1月
	高齢者 ・田代公民大学（全8回）	5月～12月
	一般 ・野鳥観察会 ・花いっぱい植栽運動及び 写真展示（文化祭） ・ガーデニング講座 ・そば打ち講座 ・お菓子作り講座	5月 5月～11月 5月 7月・12月 10月
	田代地区文化祭	11月
	田代川柳コンクール （募集期間）	9月～10月
	米代川川下りカヌー体験	7月
芸術文化		
社会体育		
広報	公民館だより（隔月）	4月～3月

田代公民館分館

分館名	主な事業名
早口一	地区別スポーツ交流会・夏祭り・雪祭り・分館祭&ゴーゴー交流会・分館講座
早口二	地区別スポレク・田代スポレク・分館祭・分館講座
本郷	田代スポレク・分館祭・分館講座
岩野目	運動会・夏祭り・田代スポレク&新年会・分館祭&いきいきサロン・分館講座
大野	運動会・分館祭・分館大清掃・分館講座
岩瀬	運動会・分館祭・夏祭り・白髭大神巡行祭・分館講座&おしゃべりサロン・分館清掃
谷地の平	ラジオ体操・谷地の平スポレクフェス・分館祭・分館講座
赤川	運動会・田代スポレク・環境整備・新年祝賀会・敬老会・分館講座
越山	運動会・夏祭り・越山スポレク・分館祭&敬老会・分館講座
山田	運動会・年末大掃除・文化祭・婦人祭・新年会・田代スポレク・分館講座



五色湖カヌー体験



岩野目地域大運動会

[2] 市民交流センター

【運営方針】

1. 日常生活をとりまく環境が変容する中で、職場や家庭で役立つ技術や知識を習得する場としての環境を整え、学習の機会を提供し、各定期講座を開設します。
2. 各講座終了後も引き続き学習を続け、定期的な自主運営を目標としたグループの育成を支援し、その充実を図ります。
3. 市民交流センターの利用グループへの活動支援に努めます。
4. 木育ひろばを広く周知し、利用促進に努めるとともに木育事業の推進を図ります。

【重点施策】

1. 定期講座の内容充実に努め、利用拡大を図る。
 - (1) 利用者のニーズに合わせ、魅力ある講座を開設し、生活文化の向上を図る。
定期講座 2 講座 募集人員 70 人
 - (2) 利用者の育成、社会参加活動の促進を図る。
 - (3) 市民の健康管理と体力づくりの増進を図る。
年中行事や季節に合わせた講座の開設に努める。
短期講座 15 講座 募集人員 190 人
2. 利用グループの活動に対する支援
センターまつりの開催 令和8年10月2日(金)～3日(土)
3. 木育事業の推進
 - (1) 木育ひろば及び木のぬくもりホール「る・る・る」の活用
 - ・子育て中の親子がいつでも遊べる屋内ひろばとして、幼児から高齢者まで気軽に木の温もりに直接触れてもらうことにより、木の良さや森林の大切さを感じ、木育に関心を持ってもらう。
 - (2) Let's go木育ひろば(移動木育ひろば)、出前講座(木のWS)を実施
 - ・市内小学校、保育園、その他施設を訪問予定。

【令和7年度利用状況】

1. 月別利用者数

(単位:人)

区分 / 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
自主事業	35	99	16	45	15	69	32	34	36	0	0	0	381
貸館	694	675	745	736	461	1,083	964	815	822	516	720	820	9,051
木育ひろば	125	77	57	90	168	52	101	142	120	109	118	165	1,324
合 計	854	851	818	871	644	1,204	1,097	991	978	625	838	985	10,756

2. その他

開館日数	291 日
サークル数	35 団体
サークル会員数	283 人

【令和8年度事業計画】

1. 定期講座

事業名	開催時期	曜日	時間	回数	定員	参加費 材料費
ムーン三浦の歌わにや ソングソング	9/30、10/8	水、木	10:00～12:00	全2回	各20人	各500円
あなたもできる手話講座	11/6、11/24	金、火	10:00～12:00	全2回	各15人	各500円

2. 短期講座

事業名	開催時期	曜日	時間	回数	定員	参加費 材料費
木育講座「五月人形」	4/8	水	10:00～12:00	1回	10人	1,800円
お茶っこサロンで「チェアバレエ・エクササイズ」	4/10	金	10:00～12:00	1回	10人	無料
風呂敷は地球を救う	4/24	金	10:00～12:00	1回	15人	500円
生け花講座	5/7	木	10:00～12:00	1回	10人	1,500円
薬膳料理講座	5/25	月	10:00～12:30	1回	15人	1,500円
クラフトバンドで「モカ はち君」	6/5	金	10:00～12:00	1回	10人	800円
リンパアクティベーション ストレッチ	6/30	火	10:00～11:30	1回	15人	500円
木育講座「木の灯ろう」	7/6	月	10:00～12:00	1回	10人	1,500円
ポーセラーツ講座	7/23	木	10:00～12:00	1回	10人	800円
脳トレカフェ「涙活」	7/27	月	10:00～12:00	1回	15人	500円
サイエンス講座「紙ひこうき」	10/3	土	10:00～12:00	1回	10組	500円
フォークソングを歌おう	10/26	月	10:00～12:00	1回	20人	500円
スキンケアとメイク講座	12/7	月	10:00～12:00	1回	10人	500円
料理講座「炊き込みご飯」	12/23	水	10:00～12:00	1回	10人	1,800円

内容や開催日が変更になる場合があります。

【利用について】

- 1.開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時
土曜日 午前9時～午後5時
- 2.休館日 日曜日・祝日・12月29日～1月3日

〔 3 〕北地区コミュニティセンター

【所在地】 大館市有浦一丁目8番15号 0186 - 45 - 0515

【運営方針】

教養・文化・研修、並びにスポーツ等の活動の場を提供することにより、市民の学習意欲の向上と、健康増進活動推進を図ることを目的とします。

【管理運営】

平成23年に勤労者総合福祉センター（サンクレア）と職業訓練センターが統合され、平成24年4月より北地区コミュニティセンター本館・別館として始動しました。

平成30年4月1日からは、株式会社やたてが指定管理者になり、現在に至っています。
（指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日）

【令和7年度利用状況】 64,884人

令和8年度：自主事業実施計画

大館市北地区コミュニティセンター

事業名	内 容	備 考
物品事業	・自動販売機の設置	・本館 2台 ・別館 1台
主催教室	・第31回愛犬しつけ教室 ・第49.50回自力整体教室 ・第29.30回体力アップ教室	・三教室とも大変特色ある内容で、センター開設時より継続して開講している教室もある。
センターまつり	・第29回センターまつり 9/26・27日開催予定 活動サークルの作品展示 発表の部・お茶席 ダンスパーティー リサイクルバザー	・市生涯学習フェスティバル協賛 北コミで活動している32サークルの中から 展示部門15サークル 発表部門4サークル 予定
自主サークルへの協力	・年々講師・生徒の高齢化が進み、サークル生も減少傾向にある。センターでもチラシを作成し館内に掲示したり、サークルが継続できるよう応援体制をとっている。	・会場の確保など、難しくなってきたので、新規のサークルは現状では増やせないが、単発で利用していただきながら、新しい分野の利用者も増やしていきたい。

【 4 】図書館・松下村塾

指定管理者 一般財団法人大館市文教振興事業団

(指定管理期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 1 0 年 3 月 3 1 日)

令和 5 年 4 月 1 日から図書館と松下村塾の一体的な指定管理者制度を導入しています。

【所 在 地】

栗盛記念図書館 (松下村塾)	大館市字谷地町 1 3 番地 (大館市字谷地町 1 2 番地)	0186-42-2525
花矢図書館	大館市花岡町字前田 1 6 2 番地 3	0186-46-1557
比内図書館	大館市比内町扇田字庚申岱 8 番地	0186-43-7142
田代図書館	大館市早口字上野 4 3 番地 1	0186-43-7127

【基 本 方 針】

大館市図書館では「市民の教育と文化の発展に貢献する図書館・松下村塾」の施設運営理念のもと、まちや暮らしの中で市民が活躍し、ふるさと大館の文化と、次代を育む地域活力の創出の取り組みを進めていきます。

本事業団が大館市図書館の指定管理者に選定されて第 2 期指定管理期間の 4 年度目となりますが、今後も引き続き多種多様な読書推進事業を積極的に進め、施設の設置目的達成のため、次の 4 点を基本方針として事業に取り組みます。

地域の中で活かされる図書館として、地域の機関とさらに連携し、市民の読書関連活動への支援を強化します。

「飛び出す図書館司書」による学校図書館への支援・連携をさらに進め、児童・生徒の読書率の向上に寄与します。

市民一人ひとりを利用者と捉え、足を運びやすい図書館、利用しやすい図書館を目指し、人と人がつながる場を提供し、市民一人ひとりの「ものがたり」を大切にします。

多様な利用者ニーズに対応する図書館作りを目指します。

【主な読書活動推進事業等】

○栗盛記念図書館（松下村塾含む）

事 業 名	事 業 内 容
ボランティア図書館利用促進事業	ボランティア活動の推進を目的として、各団体に対して図書館のスペースを開放し、読書推進活動を行う。
おひざにだっこのおはなし会	主に乳幼児と保護者を対象に読み聞かせを定期的に行う（奇数月）。
大人向けおはなし会	大人を対象とした読み聞かせを定期的に行う（月 1 回）。
特別おはなし会	幼児・児童の読書活動推進を目的に、長期休暇期間などに特別おはなし会を実施する。また、市内高校の図書委員会と連携した読み聞かせ会も実施する。
おはなしとしゃかん	職員による季節に応じた内容のおはなし会を実施する。
出張おはなし会事業	保育施設や学校などへボランティアを派遣、読み聞かせを行う。
幼保・学校支援連携事業	小・中学校へ職員（飛び出す図書館司書）を派遣し、学校図書館の整備や読書活動推進への支援を行う。幼保へは、絵本だよりの発行や要望に応じた読み聞かせボランティアの派遣などを行う。
ブックスタート事業	市福祉部健康課と連携し、5 ヶ月児すこやか教室の際に絵本のプレゼント及び読み聞かせを行う。
図書館でホッとタイム	ゲスト講師による講演や鑑賞などを実施する（後援会との共催）。
文学講座 「紫式部日記」を読む会	元大館鳳鳴高校校長の菅原明雅氏を講師に『紫式部日記』の講読会を行う（月 2 回、後援会と共催）。
図書館の中のちいさな美術館	市民の作品（絵画・書・写真など）を募集し、ロビー壁面に展示する。
図書館利用支援事業	比内支援学校と連携し、学校のカリキュラムの中での図書館利用をサポートする。

松陰読本を学ぶ	北羽歴史研究会の浪岡久雄氏を講師に、副読本『松陰読本』の講読会を行う。会場は大館市松下村塾。
図書館でビンゴ	子どもたちを対象にビンゴカードを配布し、マス毎に設定したテーマの本を読むことでビンゴを達成し、記念品を贈呈。新しい本との出会いを楽しんでもらうもの。
大館市エコフェア&マンモスフリーマーケット出展	大館市エコフェア会場に出展し、移動図書館車の展示及び利用体験、古本プレゼント、たけのこ和紙のしおり作り、本の修理体験を行う。山瀬小学校児童の参加も予定している。
図書館まつり	新規利用者獲得・利用促進・読書推進をねらいとして、多種多様な読書関連イベントを開催する。
古本・雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌や寄贈資料のうち受け入れしなかった図書などを無償譲渡する。
第57回大館市読書感想文コンクール	15歳以上の大館市民または市にゆかりのある方を対象に読書感想文を募集。後日、審査の上、受賞者には記念品贈呈、表彰式を行う。
文化講演会	文化人等を講師に迎えて講演会を開催する（後援会との共催）。
朗読サークルことばのしずく朗読を楽しむ会	朗読サークルことばのしずくの会員による朗読会。日頃の活動の成果を発表する。
音読講座（仮）	フリーアナウンサーの石川文子氏を講師に、発声法や文学作品の音読等の講座を行う。
真崎コレクション展	菅江真澄著作の現物展示を行う。秋田県立博物館学芸職員によるギャラリートークも実施する。
没後200年菅江真澄の軌跡～真崎文庫の魅力を中心に～	菅江真澄没後200年（2028年）に向けて、菅江真澄著作を含む真崎文庫の魅力を発信するイベントを行う。今回の講師は東京学芸大学名誉教授の石井正己氏。
クリスマス工作教室	季節に合わせた工作系ワークショップを開催する。
図書館でボードゲーム2026	来館のきっかけづくりとして、小学生以上を対象にボードゲームを楽しむ会を開催する。
高校生と楽しむ百人一首かるた	花輪かるた会との共催。小倉百人一首について学び、実際に競技かるたや坊主めくりを体験する。大館鳳鳴高校競技かるた部の生徒らによる和装での模範演技も行う。
英語朗読会	英会話教室ハロー・ワールドとの共催。幼児から小学生を対象として、ネイティブスピーカーによる英語絵本の朗読会を開催する。講師は小畑エマ氏。

○ 花矢図書館

事業名	事業内容
こどもの読書週間関連事業	こどもの読書週間に合わせて、本の企画展示を実施する。
読書感想画展示会	児童から読書感想画を募集し展示する（地区文化祭）。
真夏の怪談会	小中学生対象の怪談会を行う。語り手も小学生から高校生までを対象に募集する。
百人一首で遊ぼう！	放課後児童クラブと連携して、百人一首大会を実施する。
団体貸出	近隣保育園（2園）と小学校へ図書を貸出する。
出張おはなし会事業	花岡小学校へ訪問し、職員による読み聞かせを行う。
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼントする（地区文化祭）。
「花矢図書館だより」発行	新着本やおすすめ本、関連情報等を掲載し、近隣施設に配布する。

○比内図書館

事業名	事業内容
こどもの読書週間関連事業	こどもの読書週間に合わせて、本の展示などを実施する。
芸術文化祭in比内図書館	工作体験、雑誌プレゼントなどを実施する（地区文化祭）。
団体貸出	保育園、小学校へ図書を貸出する。

○田代図書館

事業名	事業内容
こどもの読書週間関連事業	こどもの読書週間に合わせて、学校で大型絵本の展示やおはなし会を開催する。
読書感想画コンクール	児童から読書感想画を募集しコンクールを実施する。
訪問読み聞かせ	ボランティアと連携し、小学校への訪問読み聞かせを実施する。
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼントする（地区文化祭）。

【蔵書数】

(R8.3.31現在)

館名	一般書	児童書	郷土資料	その他	計
栗盛記念図書館	84,637 (84,270)	26,557 (25,817)	11,794 (11,997)	709 (681)	123,697 (122,765)
移動図書館					17,414 (17,344)
花矢図書館	8,314 (8,232)	4,253 (4,121)	1,237 (1,235)	225 (246)	14,029 (13,834)
比内図書館	23,888 (23,892)	8,663 (8,681)	1,925 (1,917)	146 (141)	34,622 (34,631)
田代図書館	31,580 (31,879)	12,689 (12,567)	2,241 (2,231)	7 (148)	46,517 (46,825)

栗盛記念図書館では真崎文庫(古文書) 2,099点を所蔵 ()は、昨年度末の数値

【令和7年度利用状況】

○ 栗盛記念図書館

入館者数

102,790 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	26	9,057	2,213	348	85
5	27	9,490	2,282	351	85
6	25	8,912	2,127	356	85
7	27	10,070	2,347	373	87
8	27	9,500	2,291	352	85
9	25	9,167	2,267	367	91
10	23	8,924	2,126	388	92
11	26	10,163	2,330	391	90
12	24	9,666	2,261	403	94
1	24	7,829	1,723	326	72
2	24	8,319	1,883	347	78
3	26	9,322	2,224	359	86
計	304	110,419	26,074	363	86
移動図書館		21,131	2,623	(稼働日数211日)	

10月は整理期間のため開館日減少

○花矢図書館 入館者数 4,358 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	25	1,090	257	44	10
5	24	935	235	39	10
6	25	1,085	257	43	10
7	27	1,155	285	43	11
8	27	1,104	262	41	10
9	24	937	238	39	10
10	27	913	242	34	9
11	25	865	243	35	10
12	24	1,042	241	43	10
1	24	862	219	36	9
2	23	1,026	236	45	10
3	25	1,005	285	40	11
計	300	12,019	3,000	40	10

○比内図書館 入館者数 15,872 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	25	3,055	717	122	29
5	24	3,047	695	127	29
6	25	3,120	726	125	29
7	27	3,255	769	121	28
8	27	3,298	737	122	27
9	24	3,149	717	131	30
10	27	2,870	663	106	25
11	25	3,204	714	128	29
12	22	2,815	619	128	28
1	24	2,486	561	104	23
2	23	2,506	569	109	25
3	25	2,873	648	115	26
計	298	35,678	8,135	120	27

○ 田代図書館 入館者数 6,524 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1 日平均	
		冊 数	人 数	冊 数	人 数
4	25	997	272	40	11
5	24	1,033	237	43	10
6	24	996	241	42	10
7	27	1,085	280	40	10
8	27	1,110	274	41	10
9	24	971	258	40	11
10	27	1,153	292	43	11
11	25	1,180	295	47	12
12	24	1,084	262	45	11
1	24	799	194	33	8
2	23	821	225	36	10
3	25	894	270	36	11
計	299	12,123	3,100	41	10

有効登録者数は 4 館 28,017 人

〔 5 〕 少年相談センター

【基本方針】

社会環境の変化に伴い多様化・複雑化している青少年の問題行動・動向を的確に把握し、青少年自身や保護者・関係者からの相談に対応することにより、青少年の健全育成を図ります。

【活動状況】

現在、相談専門員兼所長 1 名、少年指導・相談員 1 名で相談業務を行っています。

令和 7 年度は、延べ 1 9 0 人の少年指導員により街頭指導・巡回活動等を行いました。

また、相談業務は来所、電話を合わせて 4 1 8 件あり、関係機関と連携を図りながら対応することにより、少年の健全育成及び非行防止に努めています。なお、少年指導員については、期初の目的が達成されたことから、令和 7 年度末をもって活動を終了しました。

〔 6 〕 児童育成施設

1．桂城児童センター

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにするとともに留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、遊びや運動を通じた体力増進を目的とする「学童スポーツクラブ」を開催しています。

その他、任意利用者による習字クラブや、体操サークルなどを行っています。

(R 7)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
学童スポーツ	1人	35人	54回	794人	1年～2年
児童仲良し	4人	75人	288回	15,781人	1年～3年
任意利用			123回	1,472人	習字サークル・体操・ 幼児通級指導教室
合 計				18,047人	

2．釈迦内児童センター

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにするとともに留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、遊びや運動を通じた体力増進を目的とする「学童スポーツクラブ」を開催しています。

その他、地域住民にセンターを開放し、利用団体によるクラブを通じた子育てを目指しています。

(R 7)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
学童スポーツ	1人	31人	77回	750人	1年～3年
児童仲良し	3人	58人	284回	11,457人	1年～3年
合 計				12,207人	

3．城西児童センター（城西小学校併設）

【活動内容】

城西児童センターは、学校と地域が連携した児童育成を進めるための施設として小学校に併設され運営されています。

児童の健康増進と情操を豊かにするとともに留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、遊びや運動を通じた体力増進を目的とする「学童スポーツクラブ」を開催しています。

また、学校とセンターを地域住民に開放し、利用団体によるクラブを通じた子育てを目指しています。

(R7)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
学童スポーツ	1人	69人	86回	1,699人	1年～3年
児童仲良し	5人	85人	288回	15,010人	1年～3年
任意利用			87回	976人	ユニカール
合 計				17,685人	

4．有浦児童会館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにするとともに留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。平成19年11月に改築し、夜間や休日に軽スポーツのための貸館業務を行っています。

(R7)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	80人	287回	13,209人	1年～3年
一般利用			399回	2,416人	貸館
合 計				15,625人	

5．有浦児童会館分館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにするとともに留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。

(R7)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	75人	301回	10,987人	1年～3年
合 計				10,987人	

6．城南児童会館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにするとともに留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。

(R7)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	46人	289回	7,916人	1年～4年
合 計				7,916人	

5．社会教育関係団体とその活動

(1) 子ども会育成連合会

23単位子ども会と約900名の会員で組織され、子どもの健全な育成を目的に、世話人育成者研修会、子ども会リーダー養成野外研修、子ども会大会や子ども会ニュース発行などを行っています。

(2) 大館市連合婦人会

会員約1,400人で組織され、令和7年度は組織の強化運動、健康促進対策、環境保全・公害対策、消費者教育・消費者運動の強化、明るい社会づくり運動、防災意識の強化などを重点目標として掲げ、大文字まつりなど、市のイベントへの協力を展開しています。

(3) PTA連絡協議会

小学校17校及び中学校8校のPTA相互の連絡調整と交流・研修を図り、児童・生徒の健全育成と学校教育振興に協力する目的で組織しています。

(4) 青少年問題協議会

青少年健全育成のための総合的な施策を樹立するために必要な事項を調査・審議し、その施策の適切な実施のために関係機関と連携調整を図ることを目的として設置された機関であり、関係行政機関の職員、関係団体の代表者及び学識経験者により組織されています。

(5) 青少年育成大館市民会議

青少年の健全な心身の育成と、安心で安全な環境づくりのために、学校や企業、町内会等、地域に密着した幅広い団体で組織された団体であり、シンポジウムや啓発運動など、青少年の健全育成を図るための諸活動を展開しています。

(6) 大館市芸術文化連盟

大館市の芸術文化の創作発展に寄与している26団体が加入し、芸術文化祭のいけ花展・茶会・俳句大会・書写展などを開催し、芸術文化の向上と参画団体の育成に努めています。

(7) 大館市田代地区芸術文化協会

8団体で構成しており、田代地域の住民を対象に芸術文化祭を開催し、地域住民の芸術作品展示や芸能発表及び郷土の伝統芸能の保存、芸術文化の高揚、実践発表の機会を提供しながら、組織団体の育成に努めています。

(8) 比内町芸術文化協会

4団体と10名の個人会員で組織しており、比内地域の芸術文化祭の開催、会報誌「芸林比内」の発刊、文化講演会の開催など文化のかおり高い町づくりを目指し、芸術文化の振興と組織団体の育成に努めています。

(9) 大館地区少年保護育成委員会、比内地区少年保護育成委員会

少年の非行防止及び犯罪被害から守るためのボランティア活動を行う委員で組織された団体であり、警察署と連携して街頭指導や非行防止に関わる啓発活動等を行うことにより、青少年の健全育成に努めています。

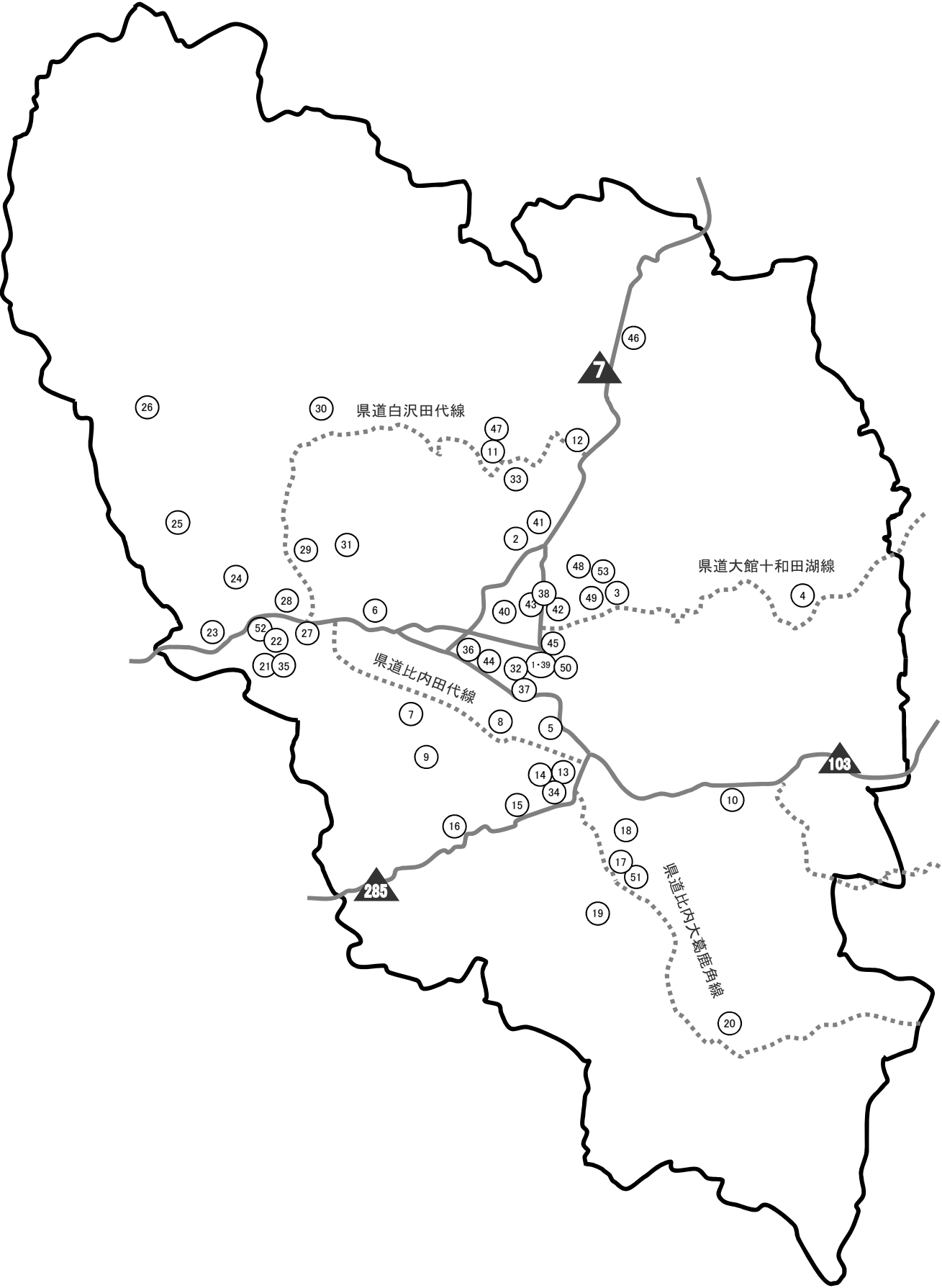
(10) おおだてロボット人材育成コンソーシアム

ロボットコンテストを通じてものづくりの楽しさを子どもたちに伝え、将来故郷で活躍する人材を育成することを目的として組織しています。

(11) Odate Marching Band “TEDAOLE”

地域のイベント等に参加しマーチングの魅力を伝えるとともに、他団体との交流を積極的に行い、団員の音楽水準の向上を図り、地域の音楽活動の発展に努めています。

6 . 社会教育施設所在地



番号	施 設 名	所 在 地
①	中央公民館	大館市字桜町南 45-1
②	釈迦内公民館	大館市釈迦内字上大留 6
③	長木公民館	大館市上代野字八幡岱 24-1
④	長木公民館 雪沢分館	大館市雪沢字上谷地 55-3
⑤	上川沿公民館	大館市池内字大出 135
⑥	下川沿公民館	大館市川口字隼人岱 108-55
⑦	真中公民館	大館市出川字上野 30
⑧	二井田公民館	大館市二井田字高村 1
⑨	二井田公民館 麓西分館	大館市比内前田字下前田 8
⑩	十二所公民館	大館市十二所字元館 1-1
⑪	花岡公民館	大館市花岡町字前田 102-3
⑫	矢立公民館	大館市白沢字白沢 1149
⑬	比内公民館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
⑭	比内公民館 扇田分館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
⑮	比内公民館 西館分館	大館市比内町達子字曲谷地 62-7
⑯	比内公民館 八木橋分館	大館市比内町八木橋字畠沢岱 16
⑰	比内公民館 東館分館	大館市比内町独鈷字小館下 18-2
⑱	比内公民館 味噌内分館	大館市比内町味噌内字鬼ヶ沢 10
⑲	比内公民館 三岳分館	大館市比内町中野字上客路橋 17
⑳	比内公民館 大葛分館	大館市比内町大葛字大葛家後 74-3

番号	施 設 名	所 在 地
㉑	田代公民館	大館市早口字上野 43-1
㉒	田代公民館 早口一分館	大館市早口字上野 55 - 8
㉓	田代公民館 早口二分館	大館市長坂字宝田岱 33-35
㉔	田代公民館 本郷分館	大館市早口字上屋敷 66-2
㉕	田代公民館 岩野目分館	大館市早口字岩野目 22
㉖	田代公民館 大野分館	大館市早口字大野 1-4
㉗	田代公民館 岩瀬分館	大館市岩瀬字大柳 95-6
㉘	田代公民館 谷地の平分館	大館市早口字深沢岱 40-4
㉙	田代公民館 赤川分館	大館市岩瀬字赤川 20
㉚	田代公民館 越山分館	大館市岩瀬字越山向岱 77-5
㉛	田代公民館 山田分館	大館市山田字寺下 42
㉜	栗盛記念図書館	大館市字谷地町 13
㉝	花矢図書館	大館市花岡町字前田 162-3
㉞	比内図書館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
㉟	田代図書館	大館市早口字上野 43-1
㊱	市民交流センター	大館市根下戸新町 6-13
㊲	松下村塾	大館市字谷地町 12
㊳	北地区コミュニティセンター	大館市有浦一丁目 8-15
㊴	少年相談センター	大館市字桜町南 45-1
㊵	桂城児童センター	大館市水門町 1-5
㊶	釈迦内児童センター	大館市釈迦内字相染台 24
㊷	有浦児童会館	大館市有浦四丁目 6-43
㊸	有浦児童会館分館	大館市有浦一丁目 8-33
㊹	城西児童センター	大館市城西町 8-1
㊺	城南児童会館	大館市字桜町 7-2
㊻	長走風穴館	大館市長走字長走 362-6
㊼	鳥潟会館	大館市花岡町字根井下 156
㊽	大館郷土博物館	大館市釈迦内字獅子ヶ森 1
㊾	ニプロハチ公ドーム	大館市上代野字稻荷台 1-1
㊿	ほくしか鹿鳴ホール	大館市字桜町南 45-1
51	民舞伝習館	大館市比内町独鈷字大日堂前 10
52	小畑勇二郎記念館	大館市早口字堤沢 15-37
53	秋田三鶏記念館	大館市釈迦内字獅子ヶ森 1

第6編 文化財・芸術文化

1. 文化財保護の概要

本市には、国指定文化財 8 件、県指定文化財 19 件、市指定文化財 44 件、国登録文化財 2 件の計 73 件の指定、登録文化財があります。

国指定のうち 6 件は天然記念物であり、大館が誇る自然の宝です。また、国指定重要文化財の八幡神社、国指定名勝の鳥潟会館庭園、国登録文化財の桜櫓館をはじめ、県指定の矢石館遺跡、矢立廃寺跡、北鹿ハリストス正教会聖堂など数多い文化財は、先人の知恵と技と努力の証であり、大館の歴史を語る貴重な資料です。

未指定の文物や伝え残されたものを含めて、これらの保護と保存を図り将来に継承することは、現代に生きる我々に託された重大な使命であります。

歴史文化課は、これら文化財の調査、研究、保存、展示、啓発などを通じ、市民の学習意欲に応えるよう運営機能の充実に努めるとともに、大館の歴史と文化を正しく継承し、大館の地に生きた先人の努力を顕彰し、認識してもらうため、文化財の積極的な保護と保存、学習機会の提供に努めています。



大館八幡神社
正八幡宮(手前)、若宮八幡宮(奥)



芝谷地湿原植物群落
モウセンゴケ



鳥潟会館庭園

2. 芸術文化振興の概要

生活にゆとりや豊かさが求められる時代となり、市民の芸術文化に対する関心と創造意欲はますます高まっています。

芸術文化は、文化的な市民生活に欠かせないものであり、行政の役割として、芸術文化活動への支援と、それを長期的に継続発展できるよう、基盤整備することが望まれています。

また、芸術文化が気軽に受け入れられるよう、幼少時から鑑賞教育、普及活動等を行い、誰もが身近に感じられる親しみやすいものにする必要があります。

今後は、地域に根ざした創造活動を活発化するとともに、活動団体の育成を図り、伝統と創造が調和する地域づくりを推進していきます。



福田豊四郎作「闘犬の日」

3. 各施設の概要

(1) 大館郷土博物館

大館の自然環境の中で、先人たちがいかに歩んできたのかということを、自然と産業、歴史、民俗、美術工芸の分野から紹介するとともに、そこから生まれてきた風土、文化を多くの方に伝え、理解していただくために、平成8年4月25日に開館しました。

平成9年には、子どもたちの科学への興味を育む施設として、「こども科学室」を開設しました。同時に大館少年少女発明クラブを博物館活動の一環として運営しています。

平成12年4月25日には「曲げわっぱ展示室」を開設し、曲げわっぱをはじめとする工芸品を展示しています。

また、平成30年には耐震補強工事を実施しました。

【所在地】 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地 0186-43-7133

【運営方針】

市民が生涯学習施設として博物館を利用できるよう、施設の整備・充実を図ります。
また、文化財保護思想の普及と、文化財の保護と活用に努めます。

【重点施策】

- 1 施設の整備・充実を図る。
 - ア 郷土に関する調査・研究と資料収集を促進し、展示内容を充実する。
 - イ 特別展示室を有効活用するため、企画展示を実施する。
- 2 文化財の保護及び利活用を促進する。
 - ア 天然記念物整備活用事業の促進と施設等の利活用体制を整備する。
 - イ 文化財の調査と紹介を図るとともに新たな資料の収集に努める。

【施設概要】 敷地総面積 30,345.00 m²
建物延床面積 6,015.90 m²
(展示館 1,453.95 m²、美術工芸展示室 456.22 m²、収蔵庫 1,233.23 m²、
貴重品収蔵庫 74.38 m²、こども科学室 610.56 m²、曲げわっぱ展示室 162.00 m²)
駐車場 50台

【開館】

- 1 開館時間 午前9時00分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)
- 2 休館日 月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)
年末年始

【令和7年度利用状況】

- 1 開館日数 308日
- 2 入館者数 2,896人



(2) 鳥潟会館

鳥潟家は慶長年間から400年余の歴史をもつ旧家であり、花岡村で代々肝煎を務めてきました。8,000㎡を超える広大な敷地に建つ建物及び庭園は、元京都帝国大学名誉教授(医学部長・日本外科学会会長)の鳥潟隆三博士によって京風の意匠が取り入れられ、現在のかたちに整備されたものです。

主屋は昭和11年に増改築上棟式が行われ、新座敷、離れ、2階茶室などに京風の意匠が取り入れられました。旧屋部分は、ちょうな削りの柱が多数見られるなど改築前の旧材がいたるところに使用されているのが特徴です。庭園は同時期に京都の名門庭師、植治7代目小川治兵衛の門弟であった粕谷幸作が作庭しています。回遊式庭園であり、池を中心とした地割がよく計画され、石組にも京風の手法が見られます。各地から吟味された良材が取り寄せられ、幅3mを超える鞍馬石や直径1mを超える伽藍石などが使用されています。表門や中門などの建造物には、京都を中心に活躍した成行兼太郎が大工棟梁として携わっています。

昭和26年に当時の花岡町へ寄贈され「鳥潟会館」として一般の使用に開放、昭和54年9月「郷土資料庫」を併設しました。

平成23年3月には、鳥潟会館(旧鳥潟家住宅)の建造物8棟が秋田県指定文化財(有形文化財)に、庭園が秋田県指定名勝にそれぞれ指定されました。

さらに令和6年10月には、庭園が「鳥潟会館庭園」として国名勝に指定されました。

【所在地】 大館市花岡町字根井下156番地 0186-46-1009

【施設概要】 敷地面積 8,191.08㎡
建物面積 791.40㎡
(主屋(大広間、和室仏間、台所、茶室(2F)、離れ化粧室 ほか)
四阿、茶室、茶室待合、社殿、表門、中門、郷土資料庫(土蔵)、庭園)

【収容人員】 約80人

【開 館】

- 1 開館時間 午前9時～午後5時(11月～3月は午前9時～午後4時)
- 2 休 館 日 毎週月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)
年末年始

【令和7年度利用状況】 3,343人



(3) 長走風穴館

長走風穴は、国内有数の風穴の不思議を体感できるエコミュージアムです。館内には、展示パネル、ミニシアター、情報コーナーなどがあり、夏季は風穴から引き込んだ天然の冷気で全館を冷房しています。3階から屋外の散策路に出ると、高山植物群落(国指定天然記念物)や、林業遺産に認定された風穴倉庫(跡)を見学できます。

平成7年度から3カ年で文化庁の天然記念物整備活用補助事業で建設し、平成10年4月3日から公開しています。平成29年度には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金で、建物の改修、展示替え(多言語化)を行い、平成30年4月1日にリニューアルオープンしました。

【所在地】 大館市長走字長走362番地6 0186-51-2005

【施設概要】 敷地面積 2,057.19 m²
建物面積 404.55 m²
風穴倉庫(見学用)85.12 m²、風のふしぎ(廊下)45.18 m²
1階展示室 173.34 m²、中2階情報コーナー67.32 m²
2階展示室 33.59 m²
建築構造 木造一部鉄筋コンクリート2階建

【開 館】

- 1 開館期間 4月1日～11月30日(冬季は閉鎖)
- 2 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 3 休 館 日 毎週月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)
ただし、6～8月は休館日なし

【入 館 料】 無料

【令和7年度利用状況】 6,853人



(4) 民舞伝習館

民舞伝習館は、農村の伝統、郷土芸能、民俗資料の保存伝習を目的として昭和 5 5 年に設置しました。1 階展示室には、かつてこの地を治めた浅利氏にまつわる資料や、隣接する大日神社に奉納された貴重な文化財を展示しています。中でも十狐（とっこ）城主浅利則頼公が愛用したと言われる「琵琶」（市指定文化財）や大日神社に奉納された県内最古ともいわれる「絵馬額」（市指定文化財）などが目を引きまします。2 階は、地元の郷土芸能である「独鈷囃子」（市指定無形文化財）の伝習の場となっています。

周辺一帯は、多くの史跡が残っていて、この施設は散策路のビジターセンター的な役割を果たしています。

【所 在 地】 大館市比内町独鈷字大日堂前 1 0 番地 0186 - 56 - 2312

【施設概要】 敷地面積 660.00 m²
 建物面積 354.89 m²
 （事務室、資料室、研修室（舞台付） 控室、納戸）

【開 館】

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1 開館時間 | 資料室 午前 9 時～午後 4 時 |
| | 研修室 午前 9 時～午後 9 時 |
| 2 休 館 日 | 月曜日（この日が祝日の場合は翌平日）、年末年始 |

【令和 7 年度利用状況】 1 2 4 人



(5) 小畑勇二郎記念館

小畑勇二郎(1906～1982)は当時の早口村に生まれ、秋田中学卒業後、代用教員、早口村役場吏員を経て秋田県庁に入庁しました。税・財務畑で活躍後、42歳で民生部長に抜擢され、昭和26年には知事選立候補のため退職し、秋田市助役を経て昭和30年から連続6期秋田県知事を務めました。

八郎潟干拓、稲の早期栽培など抜本的な農業改革と振興策に多大な功績があったほか、秋田大学医学部の誘致、脳血管研究センターの開設、全国に先駆けて生涯学習の重要性を提唱するなど多方面に業績を残しています。

本記念館は、昭和59年、有志が寄付を募って建設したのち、当時の田代町に寄贈したもので、勇二郎の生い立ち、業績、趣味など、勇二郎活躍の背景を理解するうえで貴重な展示施設となっています。

【所在地】 大館市早口字堤沢15番地37 0186-54-2230

【施設概要】 敷地面積 920.14 m²
建物面積 279.54 m²
(展示室、ホール、研修室、事務室)
建物構造 木造一部2階建て銅板葺

【管理運営】 指定管理者 株式会社友愛ビルサービス
(指定管理期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日)

【開館】
1 開館時間 午前9時～午後4時30分
2 休館日 月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)、年末年始

【令和7年度利用状況】 88人



(6) 秋田三鶏記念館

秋田三鶏記念館は、国指定天然記念物声良鶏、比内鶏及び県指定天然記念物金八鶏(以上を総称して秋田三鶏)の保護と継承を目的として、平成 22 年に設置しました。

秋田三鶏は秋田県の県北、特に米代川中流域の大館地方で古くから飼われ、親しまれてきた家禽です。この秋田三鶏の増殖を図り、天然記念物としての血統を守り、多くの人々に秋田三鶏を知ってもらうために建設したものです。

記念館では、3 月から 7 月にかけて^ふ孵化作業を行い、秋田三鶏の増殖を図るとともに、成鶏を飼育、一般公開し、各種資料の展示も行っています。

【所在地】 大館市釈迦内字獅子ヶ森 1 番地(大館郷土博物館隣)

0186 - 43 - 7133(大館郷土博物館)

【施設概要】 敷地面積 159.74 m²

建物面積 142.43 m²

(作業室、^ふ孵卵室、育雛室、飼育室)



【開館】

- 1 開館期間 4 月 1 日から 11 月 30 日まで
(冬季は閉館)
- 2 開館時間 午前 9 時から午後 4 時 30 分まで
- 3 休館日 月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)
- 4 見学料 無料

【令和 7 年度利用状況】 1,316 人

(7) 比内町郷土民俗資料館

秋田県内でも有数の穀倉地帯である比内地域にふさわしく、農具(万石・千歯こき・杵すり器・唐箕)など 330 点余りが展示されています。機械化が進んだ現在の農業と比較し、当時の農業がいかに重労働であったかが偲ばれます。民家コーナーには囲炉裏を囲む老夫婦の彫刻を配し、てどり・飯台・水がめ・タンス・衣類などを展示し、昔の農家を復元しています。

昭和 55 年 4 月 1 日開館、平成 21 年 4 月 1 日比内公民館内移転、リニューアルオープン。

【所在地】 大館市比内町扇田字庚申岱 8 番地
(大館市立比内公民館内 TEL0186-43-7141)

【施設概要】 施設面積 142.43m²(展示室)

【開館】

- 1 開館時間 午前 9 時から午後 5 時まで
- 2 休館日 第 3 月曜日、年末年始



(8) 大館市民文化会館

昭和 5 7 年の開館以来、文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献することを目指してきた大館市民文化会館は、令和元年度にネーミングライツ(命名権)を導入し「ほくしか鹿鳴ホール」と愛称が付けられました。

所 在 地 大館市字桜町南 4 5 番地 1 0186 - 49 - 7066

運営方針

文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献するため、次の 4 項目に重点を置いて市民文化会館の管理運営にあたります。

- 1 多彩で良質な鑑賞機会と参加機会を市民に提供し、文化芸術の普及と振興を図ること。
- 2 子どもたちへの積極的な働きかけにより、次世代の文化の担い手の育成を図ること。
- 3 多面的な市民との関わりを通じて、文化芸術による社会的包摂を推進すること。
- 4 会館内外の機能の充実を図り、利用者の利便と快適性の向上を図ること。

本年度の目標

- 1 良質な鑑賞機会を提供する。

費用対効果を考慮しながらも、可能な限り多くの良質な鑑賞プログラムを提供する。このため、主催事業以外にも共催等による公演誘致に努め、各種公的助成の活用を図る。

- 2 市民との連携・協力を努めるとともに、市民の学習・参加機会を提供する。

地域文化振興に資するため、市民参加型事業や文化芸術環境づくり事業を推進する。ダンスや楽器等各種ワークショップ「ピアノマラソン」や「もくもくひろば」などの市民参加型事業を継続し、市民の文化芸術活動を支援する。

- 3 情報発信の最大化を追求する。

「桜町通信(さくらまちだより)」などの独自のツールをはじめ、インターネット、各種メディア等による広域的な情報発信を行う。また、友の会会員や公演時の来場者アンケートなどにより、市民からの不断の意見聴取とニーズの把握に努める。

- 4 施設等の整備を推進する。

大館市との連携協力のもと施設・設備等の整備に努め、安全確保と快適な利用空間づくりを図る。利用者ニーズや利用形態の変化に対応し、安心安全な施設づくりに努める。



『市民音楽祭&ハンドメイドフェア/合唱部門』(令和 7 年 8 月)

施設の概要

敷地面積	建物面積	規		模
		室 名	面 積	備 考
18,357.00 m ²	6,381.70 m ²	大ホール	舞 台 560 m ²	1,206 席
			客 席 760 m ²	(一般席 1,198 席)
			ホワイエ 487 m ²	(母子席 4 席)
				(車椅子席 4 席)
		中ホール	舞 台 150 m ²	416 席
			客 席 278 m ²	(一般席 414 席)
			ホワイエ 121 m ²	(車椅子席 2 席)
		第 1 会議室	65 m ²	(洋室) 定員 20 名
		第 2 会議室	50 m ² (30 畳)	(和室) 定員 36 名
		第 1 練習室	56 m ²	(洋室) 定員 24 名
		第 2 練習室	56 m ²	(洋室) 定員 24 名
		第 3 練習室	68 m ²	(洋室) 定員 42 名
		リハーサル室	93 m ²	
		展示室	215 m ² (65 坪)	
		その他	3,422 m ²	
		駐車場		駐車台数 約 220 台

利用状況

(単位：人)

年 度 区 分	R3	R4	R5	R6	R7
大ホール	25,196	27,615	30,776	34,890	38,228
中ホール	9,969	11,643	11,541	13,375	11,931
展 示 室	13,139	12,396	13,689	12,090	13,273
そ の 他	8,675	10,060	8,984	8,720	9,827
合 計	56,979	61,714	64,990	69,075	73,259

指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団

ネーミングライツ・パートナー：株式会社 北鹿



『すずきあきとしのウクレレワークショップ／発表会』(令和7年12月)

4. 指定文化財一覧

種 別		名 称		指定年月日	所 在 地	管 理 者	
国指定	有形文化財	重要文化財(建造物)	八幡神社 2 棟	平 2. 3.19	大館市	(宗)八幡神社	
	記念物	名 勝	鳥潟会館庭園	令 6.10.11	大館市花岡町	大館市	
		天然記念物	長走風穴高山植物群落	第 1 次指定 第 2 次指定	大15. 2.24 昭 6.10.23	大館市長走	大館市
			芝谷地湿原植物群落	昭11. 9. 3	大館市釈迦内	大館市	
			秋田犬	昭 6. 7.31		秋田県	
			ザリガニ生息地	昭 9. 1.22	大館市	大館市	
			声良鶏	昭12.12.21		秋田県	
			比内鶏	昭17. 7.21		秋田県	
県指定	有形文化財	建造物	北鹿ハリストス正教会聖堂 1 棟	昭41. 3.22	大館市曲田	(宗)日本ハリストス正教会教団	
			鳥潟会館（旧鳥潟家住宅）8 棟	平23. 3.22	大館市花岡町	大館市	
		絵 画	絹本阿弥陀来迎図	昭35.12.17	大館市比内町	個人	
		工 芸	太刀 無銘伝一文字成宗	昭40. 2.23	大館郷土博物館	大館市	
			刀 銘大和大掾藤原正則	昭46. 7.17	大館市十二所	個人	
			脇差 銘栗田口一竿子入道忠綱彫同作	昭30. 1.24	大館市	個人	
			小柄金銀地空目鍛 銘正阿弥伝兵衛	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人	
			鐔竹林猛虎の図 銘秋田住重具	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人	
			刀 無銘 伝直江志津	昭40. 2.23	大館市	個人	
		書跡・典籍	菅江真澄著作 46点	昭33. 2.13	大館市立栗盛記念図書館	大館市	
			手柄岡持自筆作品・関係資料22点のうち3点	平30. 3.16			
		考古資料	鋒形石器 2 個	平 5. 4. 9	大館郷土博物館	大館市	
			塚ノ下遺跡出土土偶 1 点	平23. 3.22	大館郷土博物館	大館市	
	歴史資料	浄應寺方便法身尊形	令 6. 3.22	大館市字大館	浄應寺		
	民俗文化財	無形民俗文化財	田代岳の岳参り作占い行事	令 7. 3.21	大館市早口	田代岳の岳参り作占い行事保存協議会	
	記念物	史 跡	矢石館遺跡	昭28. 3.10	大館市早口	個人	
			矢立廃寺跡	昭34. 1. 7	大館市白沢	大館市	
安藤昌益墓			平24. 3.23	大館市二井田	個人		
天然記念物		金八鶏	昭34. 1. 7		大館市		
市指定	有形文化財	建造物	武家門	昭51. 1.20	大館市比内町	個人	
		絵 画	絵馬額 2 枚	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社	
			観経曼荼羅 1 幅	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)正覚寺	
			釈迦涅槃絵				
			花鳥 1 幅 佐竹義文	昭54. 7.20	大館市比内町	個人	
			花鳥 双幅 戸村後草園	昭54. 7.20	大館市比内町	個人	
			聖像画（イコン） 19点	平 3. 9. 3	大館市曲田	(宗)北鹿ハリストス正教会	
			釈迦涅槃図 紙本彩色 1 軸	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺	
		彫 刻	大日如来像 木造 1 軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社	
			十一面千手観音菩薩像 木造 1 軀				
			四天王像 木造 4 軀				
			不動尊像 木造 1 軀				
			毘沙門十王像 木造 10軀	昭59.12.10	大館市	(宗)玉林寺	
			延命地藏菩薩 木造 1 軀				
			虚空蔵菩薩 青銅造 1 軀				
		放光王地藏菩薩座像 青銅造 1 軀	平13. 3. 5	大館市	(宗)一心院		
		工 芸	脇差 銘出羽住忠秀	昭52. 3.22	大館市	大館市	
			刀 銘来国俊	昭52. 3.22	大館市	個人	
			太刀 銘京都住人菅原国長	昭52. 3.22	大館市十二所	個人	

種 別			名 称	指定年月日	所 在 地	管 理 者
市 指 定	有形文化財	工 芸	琵琶 1 基	昭54. 7. 20	大館市比内町	(宗)大日神社
			鰐口 1 口			
			赤絵茶壺 1 個 長康亭道三	昭54. 7. 20	大館市比内町	個人
			刀 銘出羽住正近	昭55. 3. 4	大館市	個人
		書跡・典籍	十二所土族屋敷絵図 1 軸	昭54. 3. 29	大館郷土博物館	大館市
			鸞斎書「六曲一双屏風」 1 双	昭56. 3. 30		
			扁額「十二天」 1 面	平 3. 9. 3	大館市十二所	十二所神明社
			真崎文庫 2,078点	平17. 9. 1	大館市立栗盛記念図書館	大館市
		考古資料	大型ナイフ形石器 6 個	平 4. 6. 15	大館郷土博物館	大館市
			壺（珠洲焼） 3 個	平 4. 6. 15	大館郷土博物館	大館市
	民俗文化財	無形民俗文化財	山田獅子踊り	平 6. 5. 31	大館市山田	山田獅子踊り保存会
			蛭沢獅子踊り	平 6. 5. 31	大館市岩瀬	蛭沢獅子踊り保存会
			代野番楽	平 6. 5. 31	大館市岩瀬	代野番楽保存会
			独鈷囃子	平12. 12. 6	大館市比内町	独鈷囃子保存会
			大館囃子	平13. 8. 29	大館市	大館ばやし保存会
	記念物	史 跡	道標石 1 基 達子森下	昭53. 6. 15	大館市比内町	個人
			道標石 1 基 川久保	昭53. 6. 15	大館市比内町	個人
			道標石 1 基 味噌内	昭53. 6. 15	大館市比内町	個人
			板沢一里塚 1 対	平元. 3. 3	大館市板沢	大館市
			けら木森一里塚 1 基	平元. 3. 3	大館市二井田	大館市
			十二所城代茂木家墓地	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
			長坂一里塚	平15. 7. 7	大館市長坂	個人
			松峰山信仰遺跡群	平21. 5. 1	大館市松峰	松峰部落会外
		天然記念物	出川の櫨	昭53. 3. 13	大館市出川	出川集落
			ご神木の櫨、イチイ	平 7. 3. 17	大館市岩瀬	大館市

5 . 登録文化財

種 別			名 称	登録年月日	所 在 地	管 理 者
国 登 録	有形文化財	建造物	桜櫓館（旧櫻場家住宅）	平11. 7. 8	大館市	大館市
	民俗文化財	無形民俗文化財	大館のとんぶり製造技術	令 7. 3. 28	大館市	

6 . 名園・名木

庭園の部

番号	指 定 園	所 在	所 有 者 等
1	宗福寺庭園（雨香庭）	大館市豊町 1 - 4	(宗)宗福寺
2	温泉寺庭園	大館市二井田字贅ノ里 3 3	(宗)温泉寺
3	高橋家庭園	大館市字谷地町 8	個人

樹木の部

番号	指 定 樹	所 在	所 有 者 等
1	浄心寺の枝垂桜	大館市字大館 5	(宗)浄心寺
2	有浦観音堂の銀杏	大館市有浦四丁目 1 3 1 - 4	(宗)大館神明社
3	信正寺の銀杏	大館市花岡町字七ツ館 2 5	(宗)信正寺
4	大国主神社の杉	大館市花岡町字繫沢	繫沢集落
5	吉成家の樅	大館市十二所字上城 7	個人

7. 芸術文化、文化財保護関係団体

(1) 大館市芸術文化連盟

目 的：芸術文化の興隆と拡大に努め、もって地方文化の振興に寄与する。

事 業：芸術文化の普及振興

加盟団体の交流及び活動助成

各種芸術文化事業の開催

伝統芸術文化に関する調査研究

芸術文化に関する個人及び団体の表彰

加入団体：26団体

(2) 公益社団法人 秋田犬保存会

目 的：秋田犬の保護、育成、宣伝に努める。

事 業：秋田犬に関する犬籍、犬舎号の登録及び血統書の発行

秋田犬に関する全国展、総支部展、支部展、観賞会、研修会

会報「秋田犬」の発行

観光行事等への参加

会員数：3,124人

(3) 大館市文化財保護協会

目 的：大館市内にある文化財の保護活用の健全な振興をはかるとともに、文化財、歴史資料の調査研究を行い、もって市民の文化的向上に資する。

事 業：文化財の保護顕彰に関すること

文化財及び資料の調査研究

資料の作成並びに頒布、紹介

講演会、研修会、文化財展、現地見学等の開催

会員数：30人

(4) 秋田県声良鶏比内鶏金八鶏保存会

目 的：秋田三鶏の保護、育成、宣伝に努める。

事 業：秋田三鶏の種の保存、育雛

展示会、謡い合わせ会の開催

(5) 大館市郷土芸能保存協会

目 的：古くから伝わる芸能の保存育成について、関係団体機関が相互緊密な連絡を保ち、各保存会の振興を図り市の芸能文化並びに観光発展に寄与する。

事 業：組織団体の連絡調整、演技後継者の育成指導、行事計画

加入団体：15団体

第 7 編 資 料

各 種 委 員 名 簿

1 . 大館市生涯学習推進協議会委員

(任期 2 年 : 令和 7 年 7 月 1 日 ~ 令和 9 年 6 月 3 0 日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	阿 部 之 義	大館市社会教育委員の会委員長
副会長	山 城 久 和	大館市民交流センター運営委員会会長
委 員	嶋 田 恵 子	J A あきた北女性部部长
	徳 田 孝 明	秋田職業能力開発短期大学校能力開発部長
	大 越 章 弘	大館市校長会理事 (大館市立上川沿小学校校長)
	野 村 裕 子	大館市生涯学習奨励員協議会会長
	仲 谷 博 志	(株) 北鹿新聞社取締役編集局長
	平 川 幸 恵	大館市図書館協議会委員長
	岩 澤 トシ子	大館市連合婦人会釈迦内婦人会会長
	三 浦 祥 平	大館商工会議所青年部会長
	松 下 健	(一財) 大館市スポーツ協会専務理事
	阿 部 伊之助	大館市老人クラブ連合会会長
	伊 藤 康 夫	秋田県高等学校長協会県北支部会員 (大館桂桜高等学校校長)
	鈴 木 弘	大館市小・中学校 P T A 連絡協議会会長
	月 居 裕 二	大館市私立学校協議会会長
	斉 藤 留美子	大館まちづくり協議会会長
	田 村 新 一	秋田県立大館少年自然の家所長

2．大館市生涯学習奨励員協議会委員

(任期2年：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

職 名	氏 名	奨 励 内 容	選出区域
会 長	野 村 裕 子	学校正課クラブ講師として絵手紙・生け花指導 他	下川沿
副 会 長	小笠原 哲 子	藤工芸、手芸、公民館事業協力	比 内
	田 口 諒 也	音楽療法士	中 央
委 員	片 岡 真理子	英会話	中 央
	岩 澤 トシ子	婦人会、地域行事企画・協力	釈迦内
	櫻 庭 大 智	文化芸術普及振興及び向上育成	釈迦内
	佐 藤 公 子	読書、地域活動、公民館事業協力	長 木
	本 多 留美子	パッチワーク、料理	上川沿
	富 樫 あけみ	婦人会、地域活動、公民館事業協力	真 中
	安 達 妙 子	絵手紙、手芸	二井田
	田 中 清 美	子ども会育成連合会・公民館・地域行事企画・協力	花 岡
	佐 藤 龍一夢	地域伝統芸能の保存・普及	矢 立
	前 田 友 恵	公民館事業協力	十二所
	大 野 美佐子	ハーモニカ演奏・指導、ピアノ演奏	比 内
	仙 臺 要	歌・ダンス・YOGAサークル等の指導 他	比 内
	奈 良 一 博	スポーツの普及、公民館事業協力	比 内
	佐 藤 信 博	郷土史研究、音楽サークル指導	田 代
	柳 谷 公 子	小学校後援会、地域活動協力	田 代
	田 村 美知子	插花、書道、茶道	田 代
	工 藤 忍	書道、公民館事業協力	田 代

3．大館市社会教育委員

(任期2年：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

職 名	氏 名	委 員 歴	備 考
委 員 長	阿 部 之 義	平成17年度～	
副委員長	越 前 貞 久	平成27年度～	
委 員	山 城 久 和	令和3年6月～	
	虻 川 麻里子	令和7年度～	
	武 石 郁 子	令和8年度～	
	大 森 亮	令和7年度～	
	戸 田 由美子	平成29年度～	
	庄 司 美穂子	令和7年度～	
	小笠原 豊	平成17年度～	
	片 岡 精 子	平成29年度～	

4．大館市青少年問題協議会委員

(任期2年：令和8年6月1日～令和10年5月31日)

職 名	氏 名	区 分	役職又は団体、機関名	連 絡 先
会 長	阿 部 之 義	学識経験者	大館市社会教育委員の会委員長	
副会長	伊 東 篤	関係団体	大館地区少年保護育成委員会会長	
委 員	木 村 芳 宏	関係行政機関職員	大館市福祉部子ども課課長	
	高 橋 秀 一		大館市少年相談センター相談専門員兼所長	42-0769 (少年相談センター)
	佐 藤 照 雄	関係団体	青少年育成大館市民会議会長	
	宮 嶋 信		比内地区少年保護育成委員会副会長	
	滝 川 勇		大館市防犯協会会長	
	鈴 木 弘		大館市小・中学校PTA連絡協議会会長	
	田 中 清 美		大館市子ども会育成連合会会長	
	米 澤 秀 則		大館市スポーツ少年団副本部長	
	田 中 覚	学識経験者	大館市校長会会長	42-2835 (東中学校)
	保 坂 美保子		大館地区保護司会犯罪予防活動部長	
	仲 谷 正 一		大館市民生委員児童委員協議会会長	
	伊 藤 康 夫		大館・北秋田地域生徒指導研究推進協議会会長	59-6299 (大館桂桜高等学校)
	川 崎 裕		大館市小・中学校生徒指導協議会会長	52-3022 (成章中学校)

5．大館市少年相談センター運営協議会委員

(任期2年：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	佐 藤 照 雄	青少年育成大館市民会議会長
副会長	佐 藤 孝 子	大館・北秋田地域生徒指導研究推進協議会会長
委 員	佐 藤 有希子	大館警察署生活安全課主幹
	中 嶋 舞衣子	大館市教育委員会教育研究所所長
	木 村 芳 宏	大館市福祉部子ども課課長
	野 村 裕 子	大館地区少年保護育成委員会常任理事
	仲 谷 正 一	大館市民生委員児童委員協議会会長
	川 崎 裕	大館市小・中学校生徒指導協議会会長
	鈴 木 弘	大館市小・中学校PTA連絡協議会会長

6．大館市図書館協議会委員

(任期2年：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

職 名	氏 名	職業又は団体、機関名	選出区域
委員長	平 川 幸 恵	利用者代表	大 館
副委員長	若 宮 司	比内公民館長	比 内
委 員	椿 田 利 之	図書館後援会	大 館
	渡 辺 ひとみ	読み聞かせ会	大 館
	櫻 庭 芳 枝	大館国際情報学院高等学校教諭	大 館
	瀬 尾 英 子	利用者代表	花 矢
	佐 藤 潤	花岡小学校長	花 矢
	中 田 麻紀子	利用者代表	比 内
	伊 藤 智	扇田小学校長	比 内
	柴 田 恵里子	利用者代表	田 代
	吉 田 里 佳	読み聞かせ会	田 代

7．大館市文化財保護審議会委員

(任期3年：令和6年4月1日～令和9年3月31日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	神 成 幸 忠	学識経験者（歴史・宗教）
副会長	小 泉 槇 子	学識経験者（写真）
委 員	澤 田 享	前 秋田公立美術大学教授（建造物）
	椿 田 利 之	学識経験者（歴史）
	菊 地 卓 弥	学識経験者（生物）
	山 内 俊 隆	大館市郷土芸能保存協会（郷土芸能）
	桑 名 秀 明	僧侶（歴史・宗教）
	佐 藤 和 広	学識経験者（歴史）
	渡 部 均	秋田地学教育学会
	加 藤 竜	秋田県埋蔵文化財センター 副主幹

8．大館市文化財保護指導員

(任期3年：令和6年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	職業又は団体、機関名
畠 山 充 一	自営業
鷹 嘴 勇 二	自営業
吹 谷 英 雄	無 職

9 . 大館郷土博物館運営審議会委員

(任期3年：令和8年4月1日～令和11年3月31日)

職 名	氏 名	職業又は団体、機関名	主な活動分野
委 員	松 村 六 也	蒼杉会会長	美術
	伊 藤 郁 夫	大館自然の会	自然
	日 沼 素 子	大館陶芸愛好会	工芸・社会教育
	桑 名 秀 貴	玉林寺副住職	宗教
	岩 澤 重 人	大館ばやし保存会副会長	郷土芸能

10 . 秋田三鶏記念館運営審議会委員

(任期3年：令和7年3月1日～令和10年2月29日)

職 名	氏 名	役職又は団体、機関名
会 長	長 岐 公 二	大館市教育委員会教育長
委 員	柴 田 宜 史	大館商工会議所中小企業相談所長兼経営支援課長
	高 橋 肇	大館市観光協会専務理事
	芳 賀 裕 之	あきた北農業協同組合常務理事

11 . 大館市民交流センター（旧大館市女性センター）運営委員会委員

(任期2年：令和8年5月1日～令和10年4月30日)

職 名	氏 名	区 分	職業又は団体、機関名
会 長	山 城 久 和	学識経験者	大館商工会議所副会頭
副会長	畠 山 貴 久	学識経験者	あきた北農業協同組合代表理事専務
委 員	柏 崎 勇 人	学校教育関係者	元小学校長
	野 村 裕 子	社会教育関係者	大館市生涯学習奨励員協議会会長
	乳 井 紀 子	利用者代表	サークル利用者代表
	伊 藤 さより	利用者代表	サークル利用者代表

12. 公民館運営審議会委員

(任期2年: 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

館名	氏 名	選出区分
中央公民館	小林 久美子	学校教育関係者
	齋藤 研 太	学識経験者
	齋藤 治	社会教育関係者
	片岡 真理子	社会教育関係者
	三上 美 佐	社会教育関係者
釈迦内公民館	日景 美喜子	家庭教育関係者
	木村 理 子	社会教育関係者
	斎藤 義 信	社会教育関係者
	石田 一 雄	学識経験者
	谷本 玉 緒	学校教育関係者
長木公民館	川田 諭	社会教育関係者
	奥山 由美子	家庭教育関係者
	吉田 孝 子	家庭教育関係者
	佐藤 公 子	学校教育関係者
	九嶋 光 夫	社会教育関係者
上川沿公民館	関口 孝	社会教育関係者
	藤原 和 平	学校教育関係者
	田中 真理子	学校教育関係者
	石垣 悟	社会教育関係者
	因幡 淳 子	社会教育関係者
下川沿公民館	小林 郁 子	学識経験者
	佐藤 忠 博	学識経験者
	松田 博 樹	学識経験者
	中島 敦 彦	学識経験者
	桜井 純 子	社会教育関係者
真中公民館	虻川 久 樹	社会教育関係者
	和田 幸 子	家庭教育関係者
	平泉 正 彦	社会教育関係者
	菊地 久美子	社会教育関係者
	石戸谷 清 美	学識経験者
二井田公民館	小畑 由美子	家庭教育関係者
	田畑 智 成	学識経験者
	大沢 工	学識経験者
	小畑 正 寿	家庭教育関係者
	武田 みゆき	社会教育関係者
十二所公民館	前田 友 恵	社会教育関係者
	千葉 誠	学識経験者
	佐々木 昇	学識経験者
	松中 寿 野	家庭教育関係者
	花田 永	学識経験者
花岡公民館	成田 新 悦	学校教育関係者
	虻川 麻里子	学校教育関係者
	山本 多鶴子	学校教育関係者
	白川 久 聡	学識経験者
	山本 朗	学識経験者
矢立公民館	中村 太 陽	家庭教育関係者
	佐々木 文 子	家庭教育関係者
	小林 末 広	学識経験者
	若木 由紀夫	学校教育関係者
	成田 真紀子	社会教育関係者

館名	氏 名	選出区分
比内公民館	仙臺 要	社会教育関係者
	長谷部 利 江	家庭教育関係者
	柴田 政 範	学識経験者
	阿部 重 信	学識経験者
	佐藤 清 孝	学識経験者
	畠山 鉄 男	社会教育関係者
	米澤 正 貴	学識経験者
田代公民館	渡辺 貴 子	家庭教育関係者
	浅利 博 樹	学識経験者
	小林 秀 文	社会教育関係者
	齋藤 隆 雄	社会教育関係者
	佐藤 泉	学識経験者
	三浦 美 雪	社会教育関係者
	吉田 里 佳	学識経験者

大館市生涯学習推進要綱

（目的）

第1条 この要綱は、こども・おとなが共に学び合うひとづくりをめざし、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、もって生涯学習の一層の推進を図るために必要な事項を定めるものとする。

（本部）

第2条 市の生涯学習を効果的に推進するため、大館市生涯学習推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

2. 本部は、市民の意見や要望を取り入れ、市の各部・課の実施する学習的事業を総合的に連絡調整する。
3. 本部は、本部長、副本部長、参事及び幹事をもって構成する。
4. 本部長は、市長を充てる。
5. 副本部長は、副市長及び教育長を充てる。
6. 参事は、各部の部長を充てる。
7. 幹事及び推進担当者は、本部長が委嘱する。
8. 本部に、顧問を置くことができる。

（本部長等の職務）

第3条 本部長は、本部を統括する。

2. 副本部長は、本部長を助け、本部長に事故のあるときこれを代理する。
3. 参事は、生涯学習推進のため、総合的な施策について意見を述べるとともに、施策の総合調整に当たる。
4. 幹事は、生涯学習関連事業の連絡調整に当たる。

（推進協議会）

第4条 市民の意見、要望を反映させ、生涯学習の普及を図るため、生涯学習推進協議会（以下「推進協議会」という。）を置き、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 本部長の諮問に関すること。
 - (2) 生涯学習の奨励普及に関すること。
 - (3) その他生涯学習に関し必要なこと。
2. 推進協議会は、委員25名以内をもって組織し、学識経験者及び学習実践者その他関係機関の職員のうちから本部長が委嘱する。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2. 補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第6条 推進協議会に会長及び副会長を置く。

2. 会長及び副会長は、委員の互選によって決定する。
3. 会長は、推進協議会を代表し、会務を総理する。
4. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときその職務を代理する。

（会議）

第7条 推進協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

(専門委員会)

第8条 生涯学習の内容を充実するため、生涯学習専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置くことができる。

2. 専門委員は、生涯学習について専門的な知識経験を有する者のうちから本部長が委嘱する。

3. 専門委員会の正副会長の選任、会議については、前2条の規定を準用する。

4. 専門委員会は、次の事項について研究協議し、本部長に報告する。

(1) 本部長から諮問された課題の調査・研究

(2) 資料、情報の収集及び検討並びにこれら資料等の提供

(3) その他必要な事項

(事務局)

第9条 本部の事務局は、大館市教育委員会内に置き、事務局長、事務局次長、その他必要な職員を置くことができるものとし、おおむね次に掲げる事項を行う。

(1) 総合的生涯学習推進計画の策定に関すること

(2) 推進協議会、専門委員会等に関すること

(3) 文書、予算及び決算に関すること

(4) 広報活動に関すること

(5) 各機関との連絡調整に関すること

(6) その他生涯学習推進について必要な事項

(幹事会)

第10条 幹事会は事務局長が招集し、会議の議長となる。

2. 幹事会は次の事項について協議する。

(1) 各部・課の生涯学習関連事業の連絡調整及び事業の進行管理

(2) 生涯学習関連情報の収集及び交換

(3) その他生涯学習推進上の必要な事項

(推進担当者部会)

第11条 推進担当者部会は部会長が招集し、会議の議長となる。

2. 推進担当者は次の事項について協議し、その実施及び推進に当たる。

(1) 各課(所)等間の生涯学習関連施策、事業の連絡調整

(2) 生涯学習に関する調査・研究・関連情報の収集及び交換

(3) その他、生涯学習推進について必要な事項

(生涯学習奨励員)

第12条 市民の学習活動を奨励し、生涯学習の推進充実を図るため、生涯学習奨励員(以下「奨励員」という。)を置き、次の掲げる事項を行う。

(1) 市民の学習意欲の喚起に努める

(2) 特技をとおして学習活動を援助する

(3) 学習希望者の組織化を援助する

(4) 学習上の相談に応ずる

(5) 学習情報及び資料を提供する

(6) その他学習に関し必要な事項

2. 奨励員は30名以内とし、奨励員として活躍が期待されるもののうちから本部長が委嘱する。

3. 奨励員の任期は、第5条の規定を準用する。

(奨励員協議会)

第 13 条 奨励員の設置趣旨に沿い、その成果を期するため、生涯学習奨励員協議会 (以下「奨励員協議会」という。) を設置し、次に掲げる事項を行う。

(1) 奨励員の研修等の実施

(2) 奨励員の設置趣旨、役割、任務等の普及・遂行に務めるとともに、生涯学習推進関係機関・団体との連携を図る

(3) その他必要な事項

2 . 奨励員協議会に正副会長を置き、選任及び会議については、第 6 条及び第 7 条の規定を準用する。

(補則)

第 14 条 この要綱の定めるもののほか必要な事項は、そのつど本部長が決定する。

附 則

(施行期日)

1 . この要綱は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

(要綱の廃止)

2 . 大館市生涯教育推進本部要綱 (昭和 50 年 7 月 15 日) は廃止する。

附 則 (平成 9 年 12 月 15 日改正)

この要綱は、平成 10 年 1 月 1 日から施行する。

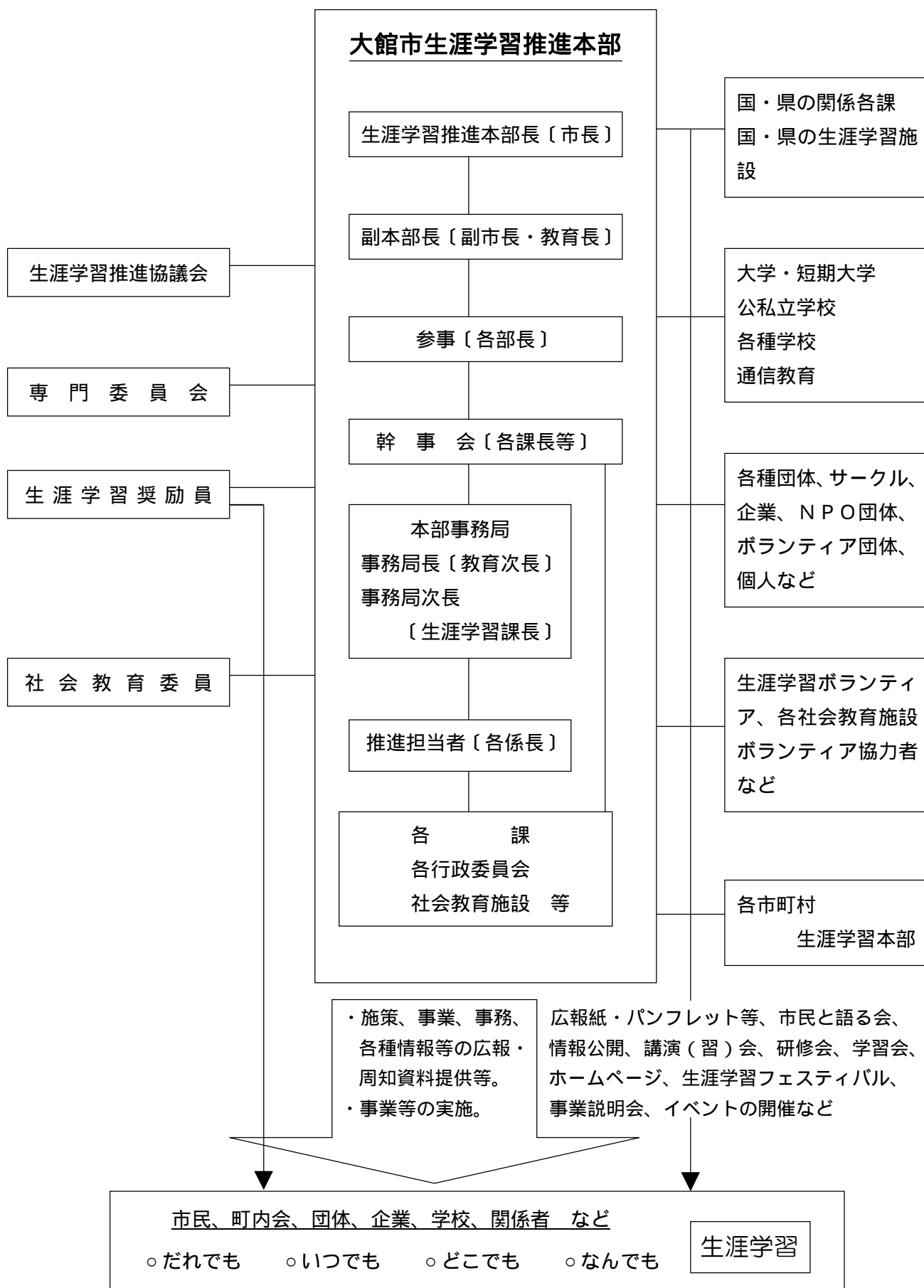
附 則 (平成 23 年 5 月 1 日改正)

この要綱は、平成 23 年 5 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 6 年 8 月 26 日改正)

この要綱は、令和 6 年 8 月 26 日から施行する。

大館市生涯学習推進本部体制



令和 8 年度

大 館 市 教 育 要 覧

発 行 令和 8 年 9 月

発行責任者 大館市教育委員会 教育総務課

所 在 地 〒 018 - 3595
大館市早口字上野 43 番地 1

TEL 0186 - 43 - 7111 FAX 0186 - 54 - 6100